

2026年7月21日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

教員の意識に関する調査 2026

～「児童・生徒に対して、自分のことを反面教師にしてもらいたいと思ったことがある」 教員の 39% ～

ジブラルタ生命保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：蕪木 広義）は、20歳～69歳の教員（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）2,000名（男性1,000名 女性1,000名）を対象に、「教員の意識に関する調査2026」をインターネットリサーチで実施し、集計結果を公開しました。（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）

◆教員としてのやりがいを感じる TOP3

「児童・生徒の成長を感じられたとき」「児童・生徒の笑顔を見たとき」「児童・生徒と感動を分かち合えたとき」

教員としてどのようなときにやりがいを感じるか聞くと、「児童・生徒の成長を感じられたとき」が最も高くなり、次いで、「児童・生徒の笑顔を見たとき」、「児童・生徒と感動を分かち合えたとき」となりました。児童・生徒の成長の実感や喜びなど、子どもたちとの関わりがモチベーションにつながっている人が多いのではないのでしょうか。

Q. 教員としてどのようなときにやりがいを感じるか？

1位	児童・生徒の成長を感じられたとき	4位	保護者からお礼・感謝されたとき
2位	児童・生徒の笑顔を見たとき	5位	自分の仕事が評価されたとき
3位	児童・生徒と感動を分かち合えたとき		



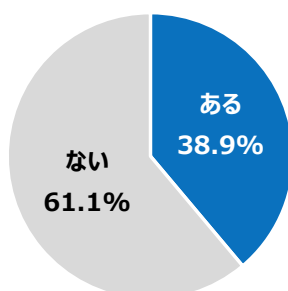
◆「児童・生徒に対して、自分のことを反面教師にしてもらいたいと思ったことがある」39%

反面教師にしてもらいたいと思ったところ 「学生時代に勉強をおろそかにしたこと」

「自分のものさしで他者をはかってしまうこと」「保守的で挑戦する気持ちがあまりなかったところ」など

児童・生徒に対して、自分のことを反面教師にしてもらいたいと思ったことがあるか聞くと、「ある」は38.9%となりました。反面教師にしてほしいと思うことをみると、「学生時代に勉強をおろそかにしたこと」や「自分のものさしで他者をはかってしまうこと」、「家庭と健康を犠牲にして働くこと」、「保守的で挑戦する気持ちがあまりなかったところ」といった回答がありました。

Q. 反面教師にしてもらいたいと思うことがあるか・反面教師にしてもらいたいと思うところは？



- ・学生時代に勉強をおろそかにしたこと
- ・興味のない科目の勉強をサボったこと
- ・家庭と健康を犠牲にして働くこと
- ・計画性がないところ
- ・結果を求めるあまり、急いでしまうこと
- ・感情が表に出過ぎること
- ・自分のものさしで他者をはかってしまうこと
- ・保守的で挑戦する気持ちがあまりなかったところ

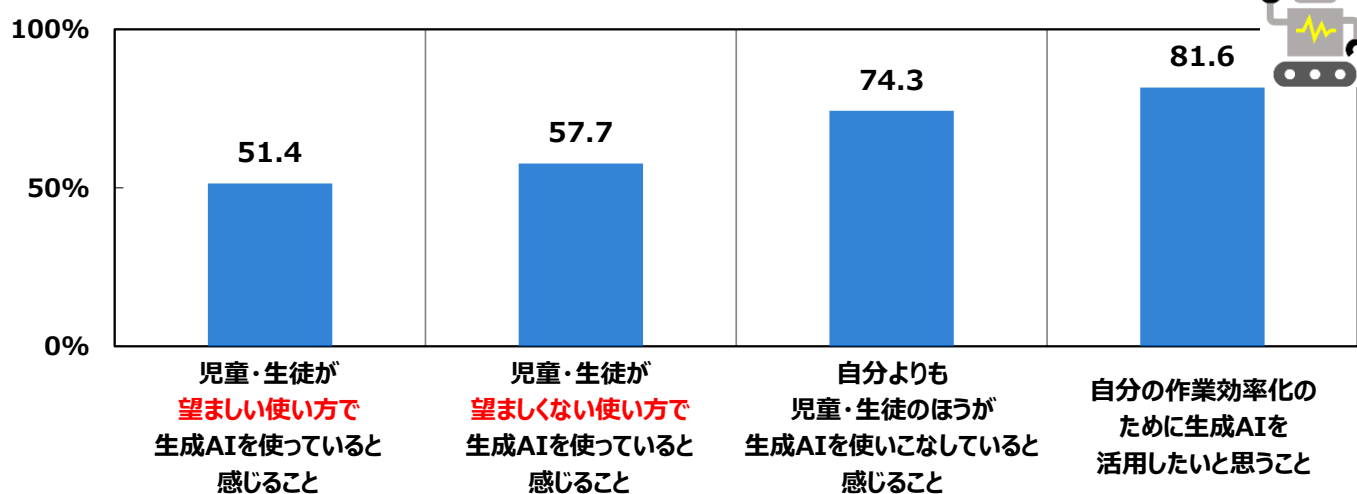


- ◆「児童・生徒が望ましい使い方で生成 AI を使っていると感じることもある」51%、
「児童・生徒が望ましくない使い方で生成 AI を使っていると感じることもある」58%、
「自分よりも児童・生徒のほうが生成 AI を使いこなしていると感じることがある」74%、
「自分の作業効率化のために生成 AI を活用したいと思うことがある」82%

教育現場における生成AIの利用について、児童・生徒が望ましい使い方で生成AIを使っていると感じることはあるか聞くと、「ある」は51.4%となり、児童・生徒が望ましくない使い方で生成AIを使っていると感じることは「ある」は57.7%となりました。

自分よりも児童・生徒のほうが生成AIを使いこなしていると感じることは「ある」は74.3%、自分の作業効率化のために生成AIを活用したいと思うことは「ある」は81.6%となりました。

教育現場における生成AIの利用について、感じる／思うことがある人の割合



- ◆授業の教材として最も活用したいマンガ 1位「ドラえもん」2位「SLAM DUNK」3位「ONE PIECE」

授業の教材として最も活用したいマンガのタイトルを聞くと、1位「ドラえもん」、2位「SLAM DUNK」、3位「ONE PIECE」、4位「はたらく細胞」、5位「はだしのゲン」となりました。

TOP3となった回答について、活用したいと思う理由をみると、1位の「ドラえもん」では「のび太との会話に教材となるものが多から」や「秘密道具に創造性を感じられる」、2位の「SLAM DUNK」では「困難に打ち勝つための要素がたくさんあるから」、3位の「ONE PIECE」では「さまざまな歴史的、地理的要素が詰まっているから」といった回答がありました。

Q. “授業の教材として最も活用したい”マンガのタイトルは？

1位	ドラえもん	109名
2位	SLAM DUNK	82名
3位	ONE PIECE	63名
4位	はたらく細胞	45名
5位	はだしのゲン	41名



調査結果 index

◆教職について

……p.5～8

- ・教員になりたいと思った理由TOP2 「教えることが好きだから」「子どもが好きだから」
- ・教員生活の充実度を100点満点で表すと？ 平均は70.4点、平均点は高年層で高くなる傾向
- ・教員としてのやりがいを感じる時TOP3
「児童・生徒の成長が感じられたとき」「児童・生徒の笑顔を見たとき」「児童・生徒と感動を分かち合えたとき」
- ・理想の教員像は？
1位「授業がわかりやすい」2位「児童・生徒とのコミュニケーションが上手」3位「児童・生徒のやる気を引き出している」

◆教員の現場に関する意識について

……p.9～10

- ・校内で好きな場所 1位「教室」2位「職員室」3位「校庭・グラウンド」
- ・好きな学校行事は？ 1位「卒業式」2位「運動会・体育祭」3位「修学旅行」

◆業務における苦勞について

……p.11～14

- ・教員の業務において苦勞していること 1位「保護者とのコミュニケーション」
中学校と高等学校の教員では「部活動・クラブ活動の指導」が4人に1人
- ・「仕事の悩みを相談する相手がいる」81%、女性では89%
実際に相談している相手 1位「同世代の教員」2位「先輩の教員」3位「家族」
- ・新人の先生にかけてあげたいコトバ
「どんどん先輩の先生を頼ろう」「まずは先輩教師を真似ることから」「あなたにしか救えない子どもたちが必ずいる」など

◆スクールカウンセラー・スクールロイヤーについて

……p.15～16

- ・スクールカウンセラー、スクールロイヤーの在籍率 「スクールカウンセラー」は84%、「スクールロイヤー」は16%
「スクールロイヤー」の在籍率 近畿地方では19%
- ・スクールカウンセラーやスクールロイヤーの必要性の実感
「スクールカウンセラーを必要だと思ったことがある」はスクールカウンセラーが自身の学校にいない人の62%
「スクールロイヤーを必要だと思ったことがある」はスクールロイヤーが自身の学校にいない人の67%

◆子どもたちからもらうコトバについて

……p.17～18

- ・児童・生徒から言われて最もうれしかったコトバ 「ありがとう」が5年連続1位
- ・児童・生徒から言われて最もへこんだコトバ 「授業がわからない・わかりにくい、下手」が3年連続1位

◆子どもたちに身につけてほしいことについて

……p.19

- ・「児童・生徒に対して、自分のことを反面教師にしてもらいたいと思ったことがある」39%
反面教師にしてもらいたいと思ったところ 「学生時代に勉強をおろそかにしたこと」
「自分のものさしで他者をはかってしまうこと」「保守的で挑戦する気持ちがあまりなかったところ」など

◆教育現場における生成AIの利用について

……p.20～22

- ・「児童・生徒が望ましい使い方で生成AIを使っていると感じることもある」51%、
「児童・生徒が望ましくない使い方で生成AIを使っていると感じることもある」58%、
中学校の教員ではいずれも60%台
- ・「自分よりも児童・生徒のほうが生成AIを使いこなしていると感じることもある」74%

・「自分の作業効率化のために生成AIを活用したいと思うことがある」82%、活用意向は若年層ほど高くなる傾向

◆子どもに薦めたいエンタメについて

……p.23～24

・授業の教材として最も活用したいマンガ 1位「ドラえもん」2位「SLAM DUNK」3位「ONE PIECE」

・児童・生徒に最も薦めたいYouTubeチャンネル

「QuizKnock」「小島よしおのおっぱぴー小学校」

「中田敦彦のYouTube大学 - NAKATA UNIVERSITY」が同数で1位！

◆教科に対する意識・実感について

……p.25～30

・子どもの頃に好きだった教科 男性・女性ともに1位は「算数・数学」

担当教科別では、現在担当している教科が“子どもの頃に好きだった教科”で1位

好きだった理由 算数・数学「居残りで丁寧に指導してくれたから」、社会「歴史は、説が年々増えるから」、音楽「先生に歌唱力を褒められたから」など

・子どもの頃に嫌いだった教科 男性では1位「国語」、女性では1位「算数・数学」

文系教科の担当教員では「算数・数学」、理系教科の担当教員では「国語」が1位！

嫌いだった理由 国語「作者の気持ちは作者にしかわからない」、算数・数学「公式を汎化できなかったから」、保健・体育「水やボールなど、恐怖を感じる場面が多かった」など

・大人になって実は役立つということがわかった教科 男性・女性ともに1位「算数・数学」

役立つシーン・役立つことがわかった場面 算数・数学「シミュレーションや予測」、

社会「制度や世の中の仕組みの理解が必要だと思った」、技術・家庭「お金の使い方や生活全般」など

◆職業観・結婚観について

……p.31～34

・子どもの頃に就きたかった職業 男性・女性ともに「教員」がダントツ！

・生まれ変わったら何になりたい？

男性TOP3 「教員」「大学教授・研究者」「公務員」、女性TOP3 「教員」「公務員」「医師」

・どのような職業の人と結婚した？ 男性回答・女性回答ともに1位「教員」

・どのような職業の人と結婚したい？ 未婚男性では「教員」が1位、未婚女性では「公務員」が1位

◆教員・学校×有名人

……p.35

・理想の校長先生のイメージに合うと思う有名人 男性回答1位「武田鉄矢さん」、女性回答1位「天海祐希さん」



本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■ 本リリースに関するお問い合わせ先 ■

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563

アンケート調査結果

◆教職について

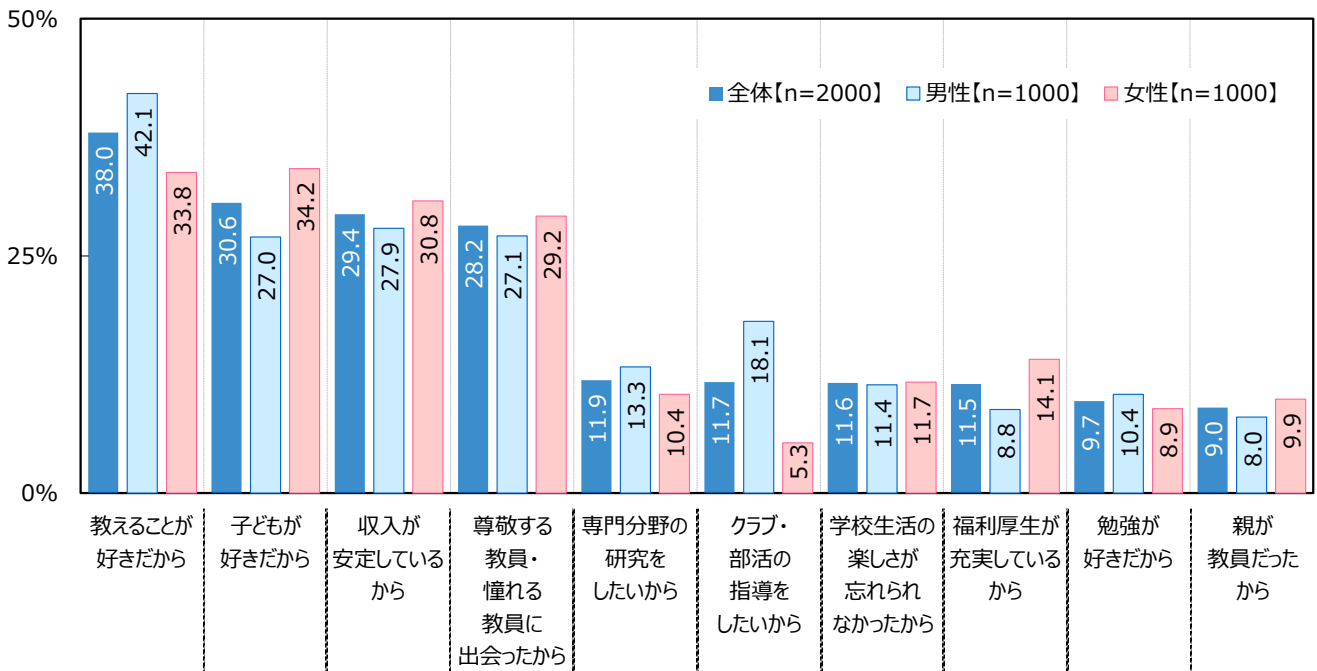
・教員になりたいと思った理由 TOP2 「教えることが好きだから」「子どもが好きだから」

全国の20歳～69歳の教員（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）2,000名（全回答者）に対し、教職について質問しました。

まず、全回答者（2,000名）に、教員になりたいと思った理由を聞いたところ、1位「教えることが好きだから」（38.0%）、2位「子どもが好きだから」（30.6%）、3位「収入が安定しているから」（29.4%）、4位「尊敬する教員・憧れる教員に出会ったから」（28.2%）、5位「専門分野の研究をしたいから」（11.9%）となりました。

男女別にみると、「クラブ・部活の指導をしたいから」（男性18.1%、女性5.3%）は男性が女性と比べて10ポイント以上高くなりました。女性では「子どもが好きだから」（34.2%）が1位となりました。

◆教員になりたいと思った理由（複数回答形式） ※上位10位までを表示

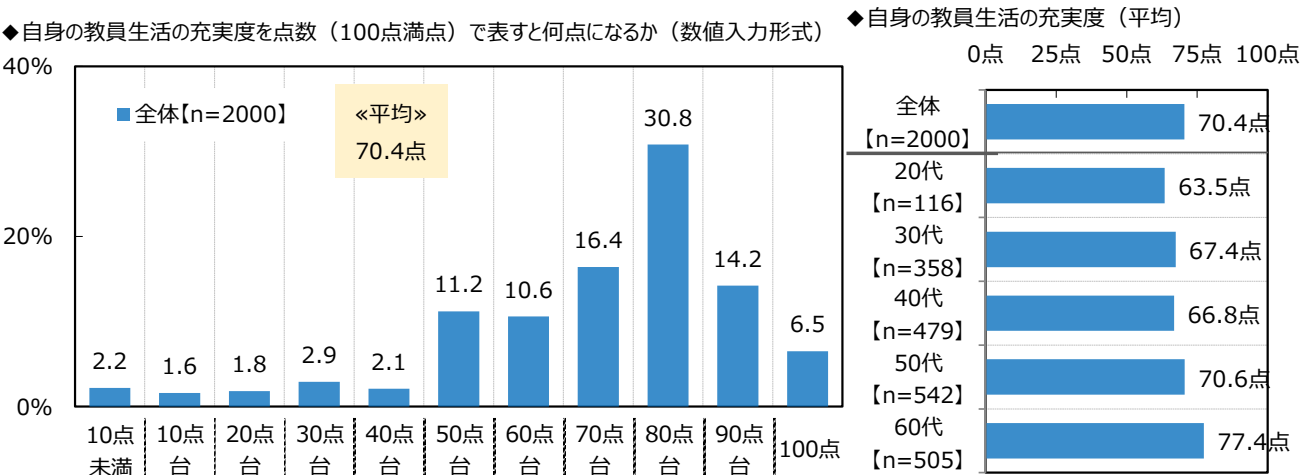


・教員生活の充実度を 100 点満点で表すと？ 平均は 70.4 点、平均点は高年層で高くなる傾向

次に、自身の教員生活の充実度を点数（100 点満点）で表すと何点になるか聞いたところ、「80 点台」（30.8％）に最も多くの回答が集まり、平均は 70.4 点でした。

年代別にみると、充実度の平均は高年層で高くなる傾向がみられ、60 代では 77.4 点となりました。他方、20 代では 63.5 点と、全体の平均より 5 点以上低くなりました。教員としての経験を積むことで、充実度も高まっていくのではないのでしょうか。

充実度の点数を回答した理由をみると、50 点未満の人では「やりがいはあるが、忙し過ぎて家庭と自分の健康を害しているから」や「求める教師像のためにはかなりの時間を要するから」、「激務でワークライフバランスが崩れているから」、50 点以上 70 点未満の人では「人間関係が難しい」や「自分がやりたい仕事や専門性を活かすことができないことが多いから」、70 点以上 90 点未満の人では「やりがいは感じているが、自分自身の未熟な部分もまだ多くあるから」や「やりがいもあり充実し毎日楽しく生徒と関わっているが、まだまだ自分自身を高めていかなければと思うから」、90 点以上の人では「教え子と仕事ができた」や「自分のしていることが良い影響を与えていると実感できるから」といった回答がみられ、どの点数においても、やりがいと仕事の忙しさのバランスに関する回答が多く挙がりました。



◆教員生活の充実度の点数を回答した理由（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示 全体 [n=2000]

充実度の点数を回答した理由	
50点未満	
・やりがいはあるが、忙し過ぎて家庭と自分の健康を害しているから	（5点・特別支援学校）
・激務でワークライフバランスが崩れているから	（10点・特別支援学校）
・もっとフレキシブルに働きたいが、できていないから	（20点・高等学校）
・求める教師像のためにはかなりの時間を要するから	（30点・中学校）
・オーバーワーク	（30点・高等学校）
・残業が多い、保護者・子どもの多様化	（40点・小学校）
・やりがいよりも負担が大きい	（45点・小学校）
50点以上70点未満	
・安定している仕事だから。でも、自分の子どもの運動会を見にいけないのは、しんどい	（50点・小学校）
・人間関係が難しい	（50点・高等学校）
・まだ教材研究が足りない	（60点・高等学校）
・自分がやりたい仕事や専門性を活かすことができないことが多いから	（60点・特別支援学校）
70点以上90点未満	
・喜びを感じることが多いから	（70点・高等学校）
・やりがいは感じているが、自分自身の未熟な部分もまだ多くあるから	（75点・特別支援学校）
・まだまだ経験不足で足りない部分はたくさんあるけれど、自分なりにやりたいこと、やるべきことができているため	（80点・特別支援学校）
・やりがいもあり充実し毎日楽しく生徒と関わっているが、まだまだ自分自身を高めていかなければと思うから	（85点・中学校）
90点以上	
・とてもやりがいのある仕事だと思う。ただ、あまりにも忙しくて、自身の子育てに十分手をかけられなかったという悔いがある	（90点・高等学校）
・定年退職しても、まだ現役として生活できているから	（90点・小学校）
・教え子と仕事ができた	（90点・高等学校）
・自分のしていることが良い影響を与えていると実感できるから	（100点・小学校）
・天職だと思うから	（100点・小学校）

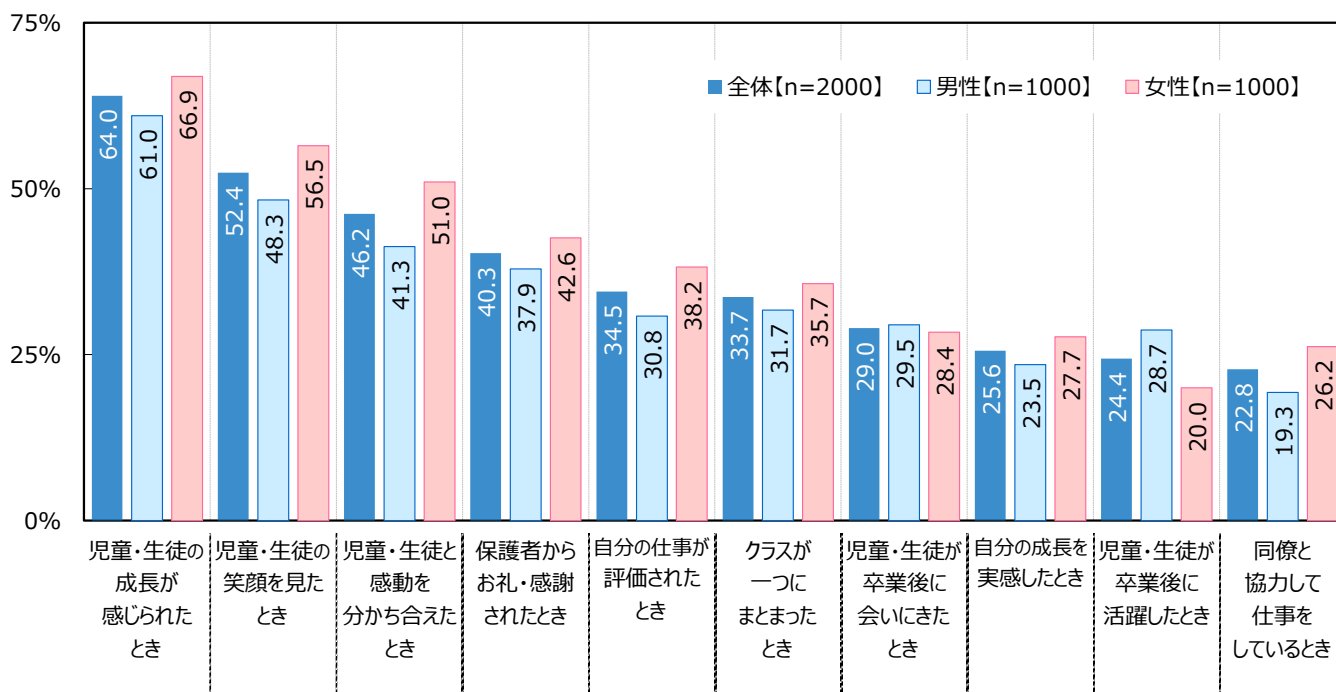
・教員としてのやりがいを感じる時 TOP3

「児童・生徒の成長を感じられたとき」「児童・生徒の笑顔を見たとき」「児童・生徒と感動を分かち合えたとき」

教員としてどのようなときにやりがいを感じるか聞いたところ、「児童・生徒の成長を感じられたとき」（64.0％）が最も高くなり、次いで、「児童・生徒の笑顔を見たとき」（52.4％）、「児童・生徒と感動を分かち合えたとき」（46.2％）となりました。児童・生徒の成長の実感や喜びなど、子どもたちとの関わりがモチベーションにつながっている人が多いのではないのでしょうか。以降、「保護者からお礼・感謝されたとき」（40.3％）、「自分の仕事が評価されたとき」（34.5％）が続きました。

男女別にみると、女性では「児童・生徒の成長を感じられたとき」（66.9％）や「児童・生徒の笑顔を見たとき」（56.5％）、「児童・生徒と感動を分かち合えたとき」（51.0％）が半数以上となりました。

◆教員としてどのようなときにやりがいを感じるか（複数回答形式） ※上位10位までを表示



・理想の教員像は？

1 位「授業がわかりやすい」2 位「児童・生徒とのコミュニケーションが上手」3 位「児童・生徒のやる気を引き出している」

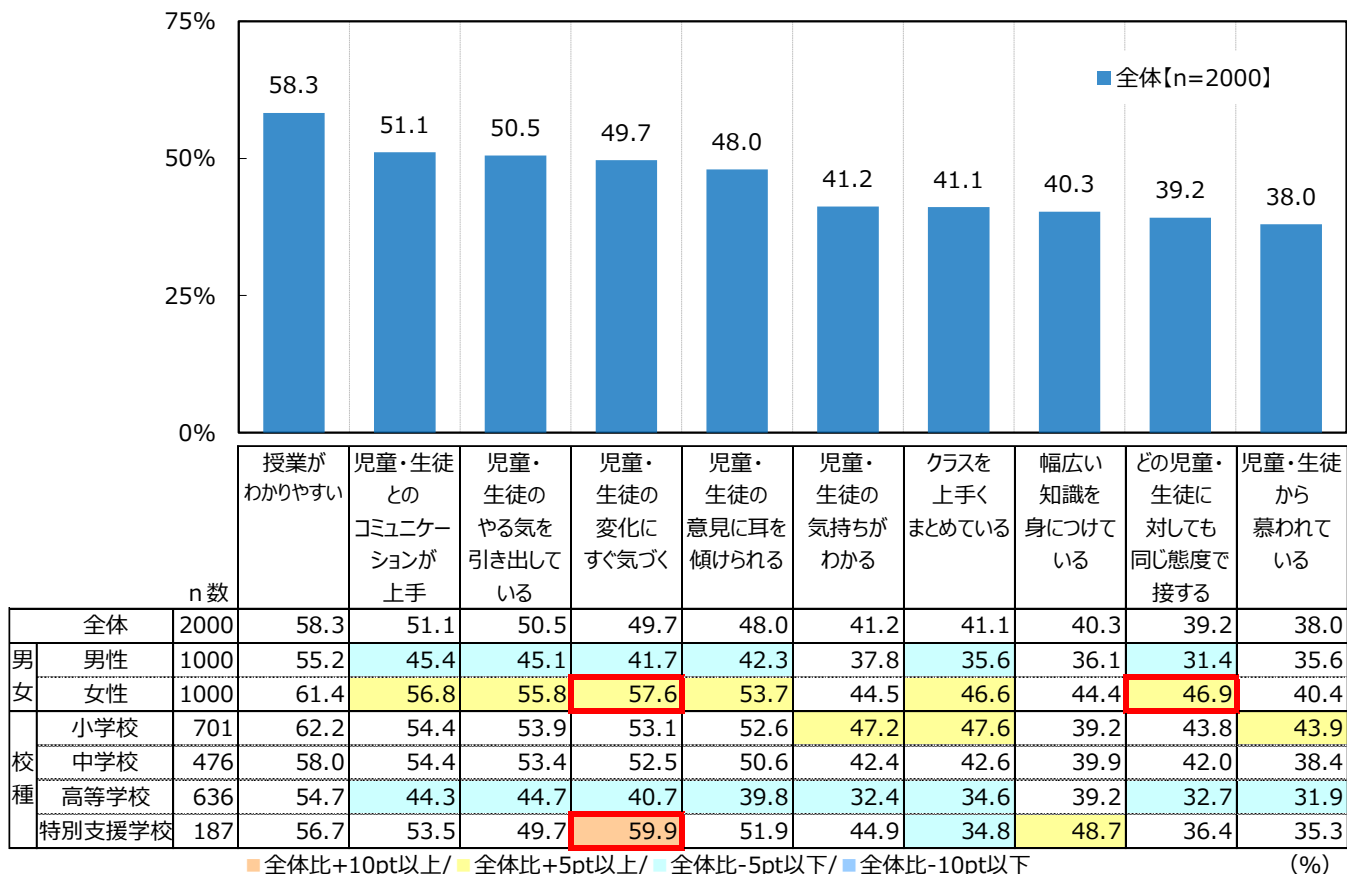
続いて、理想の教員のイメージについて質問しました。

全回答者（2,000 名）に、理想の教員像を聞いたところ、最も高くなったのは「授業がわかりやすい」（58.3％）で、以降、「児童・生徒とのコミュニケーションが上手」（51.1％）、「児童・生徒のやる気を引き出している」（50.5％）、「児童・生徒の変化にすぐ気づく」（49.7％）、「児童・生徒の意見に耳を傾けられる」（48.0％）が続き、授業の内容だけでなく、児童・生徒との接し方、関わり方についての項目が上位となりました。

男女別にみると、「児童・生徒の変化にすぐ気づく」（男性 41.7％、女性 57.6％）と「どの児童・生徒に対しても同じ態度で接する」（男性 31.4％、女性 46.9％）では男性と比べて女性のほうが 15 ポイント以上高くなりました。

勤務先の学校種別にみると、特別支援学校では「児童・生徒の変化にすぐ気づく」（59.9％）が 1 位でした。

◆理想の教員像（複数回答形式） ※上位10位までを表示



◆教員の現場に関する意識について

・校内で好きな場所 1位「教室」2位「職員室」3位「校庭・グラウンド」

全回答者（2,000名）に、校内で好きな場所を聞いたところ、「教室」（513名）がダントツとなりました。以降、2位「職員室」（132名）、3位「校庭・グラウンド」（108名）、4位「図書室・図書館」（89名）、5位「音楽室」（52名）が続きました。

◆校内で好きな場所（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	2026年調査：全体【n=2000】	名
1位	教室	513
2位	職員室	132
3位	校庭・グラウンド	108
4位	図書室・図書館	89
5位	音楽室	52
6位	体育館	46
7位	教科準備室・研究室	42
8位	中庭	34
9位	理科室	28
10位	トイレ	25

男女別にみると、男女とも「教室」（男性241名、女性272名）がダントツとなり、男性では2位「校庭・グラウンド」（66名）、3位「職員室」（59名）、女性では2位「職員室」（73名）、3位「図書室・図書館」（53名）でした。

男女のTOP3について理由をみると、男性・女性1位の「教室」では「少人数の生徒とゆったりと会話する雰囲気が好きだから」や「みんなが帰ったあと、子どもたちがいた空間のなか明日のことを考える時間が好き」、男性2位の「校庭・グラウンド」では「子どもの素の姿が見られる」や「体育祭や部活動で一生懸命に活動している生徒の顔が見られたから」、男性3位・女性2位の「職員室」では「思いを共有できる人がいるから」や「子どもたちの他愛もない話を周りの先生と共有できるから」といった回答が挙がりました。また、女性3位の「図書室・図書館」では「静かに仕事したいときや生徒と面談するのに便利」や「子どもたちが落ち着いて過ごせる場所」といった回答が挙がりました。

◆校内で好きな場所（自由回答形式） ※上位5位までを表示

	男性【n=1000】	名	理由（抜粋）
1位	教室	241	・少人数の生徒とゆったりと会話する雰囲気が好きだから ・子どもがいるときはもちろん、放課後であっても職員室より仕事がかどる
2位	校庭・グラウンド	66	・子どもの素の姿が見られる ・体育祭や部活動で一生懸命に活動している生徒の顔が見られたから
3位	職員室	59	・同僚といろんな話ができるから ・思いを共有できる人がいるから
4位	図書室・図書館	36	・勉強する生徒が多く、しっかり勉強しようという意思を感じられるから
5位	体育館	31	・行事やイベント、部活動などが行われる場所だから

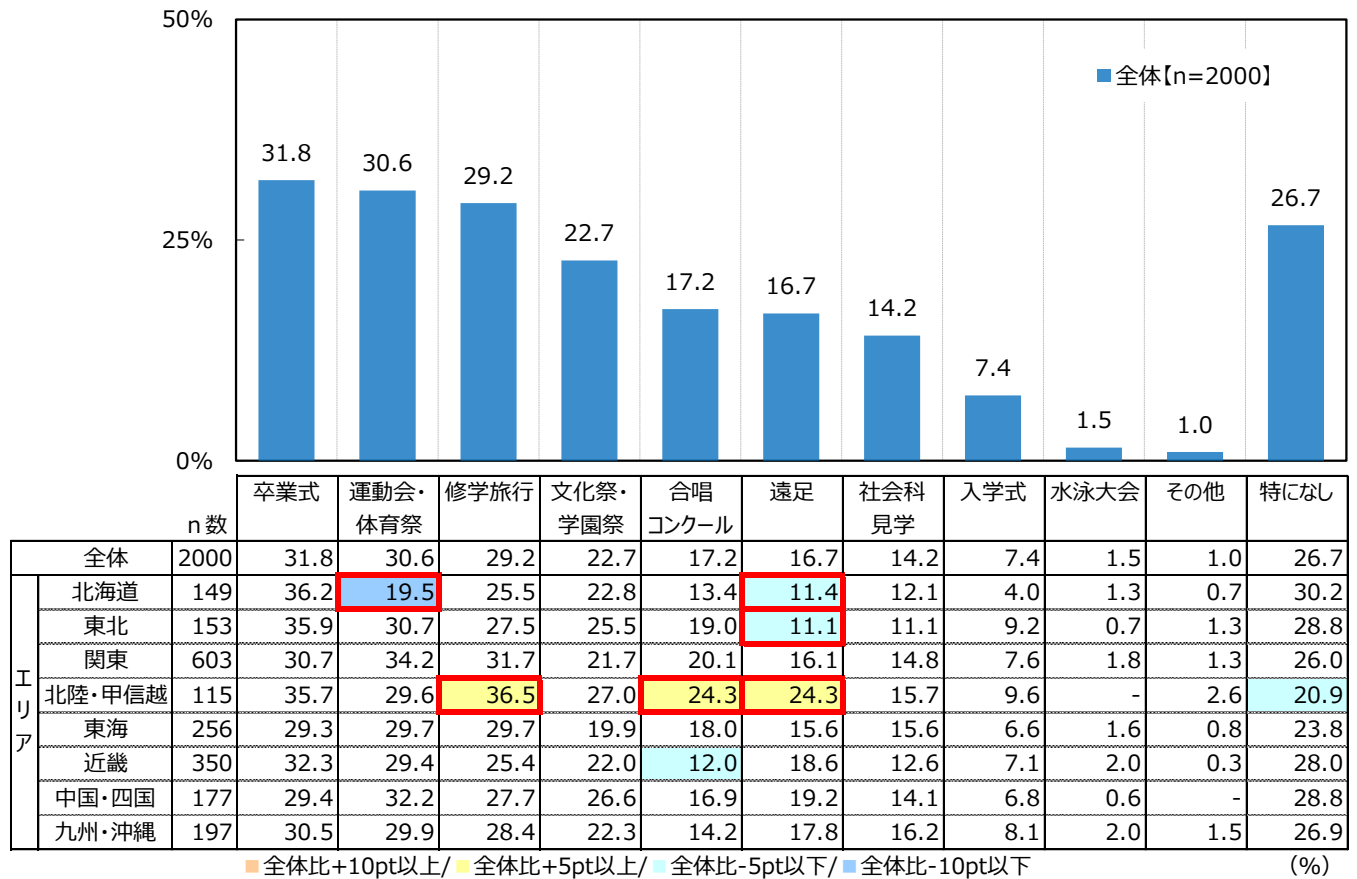
	女性【n=1000】	名	理由（抜粋）
1位	教室	272	・みんなが帰ったあと、子どもたちがいた空間のなか明日のことを考える時間が好き ・休み時間、教室から見える運動場の子どもたちの姿に癒される
2位	職員室	73	・職員同士の交流、情報交換の場所だから ・子どもたちの他愛もない話を周りの先生と共有できるから
3位	図書室・図書館	53	・静かに仕事したいときや生徒と面談するのに便利 ・子どもたちが落ち着いて過ごせる場所
4位	音楽室	43	・生徒の歌声が聞こえる場所だから
5位	校庭・グラウンド	42	・子どもたちが楽しそうに遊ぶ姿が見られる

・好きな学校行事は？ 1 位「卒業式」2 位「運動会・体育祭」3 位「修学旅行」

全回答者（2,000 名）に、好きな学校行事を聞いたところ、1 位「卒業式」（31.8%）、2 位「運動会・体育祭」（30.6%）、3 位「修学旅行」（29.2%）、4 位「文化祭・学園祭」（22.7%）、5 位「合唱コンクール」（17.2%）となりました。

居住エリア別にみると、北海道では「運動会・体育祭」（19.5%）が全体より 10 ポイント以上低くなりました。また、「遠足」は、北海道（11.4%）と東北（11.1%）で全体より 5 ポイント以上低くなりました。北陸・甲信越では、「修学旅行」（36.5%）や「合唱コンクール」（24.3%）の割合が全体より 5 ポイント以上高くなりました。

◆好きな学校行事（複数回答形式）



◆業務における苦勞について

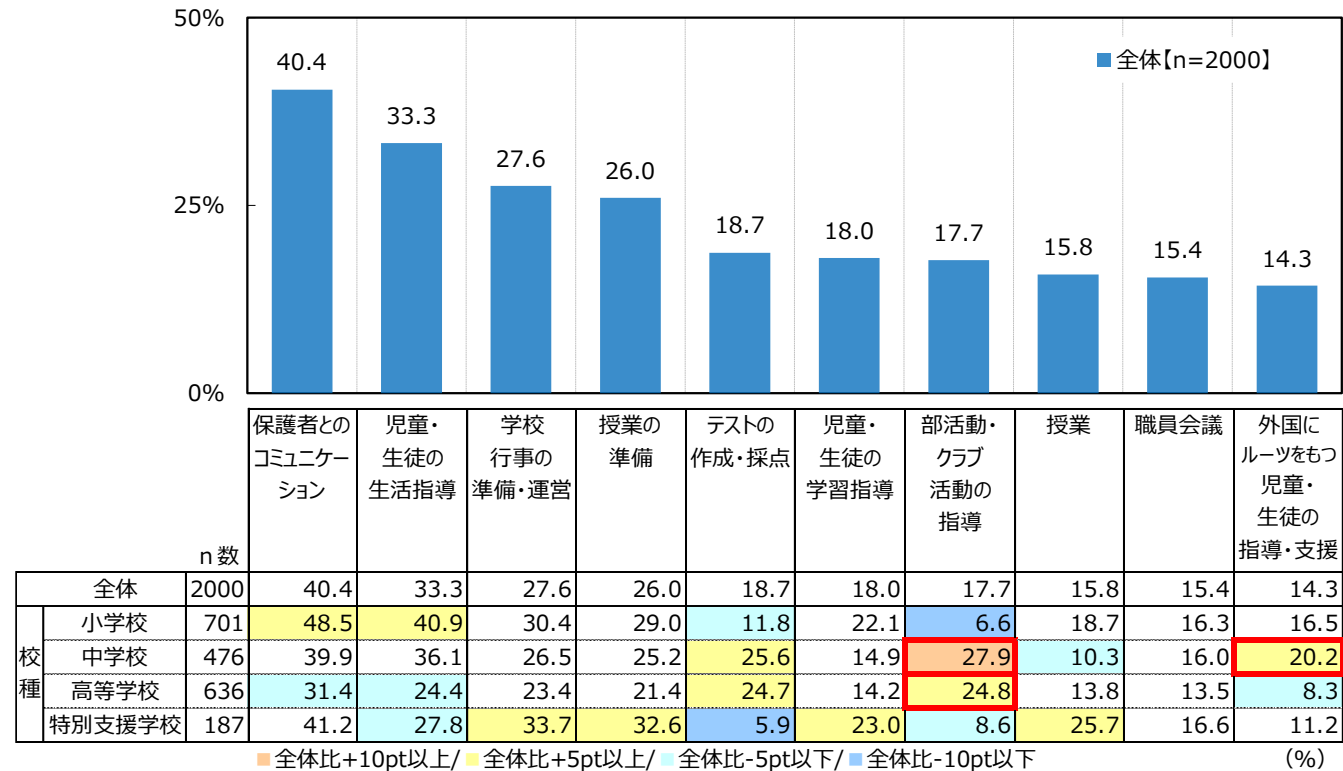
・教員の業務において苦勞していること 1 位「保護者とのコミュニケーション」

中学校と高等学校の教員では「部活動・クラブ活動の指導」が 4 人に 1 人

全回答者（2,000 名）に、教員の仕事で苦勞していることを聞いたところ、「保護者とのコミュニケーション」（40.4%）が最も高くなりました。保護者との関わり方に苦勞している先生が多いようです。以降、2 位「児童・生徒の生活指導」（33.3%）、3 位「学校行事の準備・運営」（27.6%）、4 位「授業の準備」（26.0%）、5 位「テストの作成・採点」（18.7%）となりました。

勤務先の学校種別でみると、「部活動・クラブ活動の指導」は、中学校の教員（27.9%）と高等学校の教員（24.8%）では 4 人に 1 人が苦勞している結果となりました。また、中学校の教員では「外国にルーツをもつ児童・生徒の指導・支援」（20.2%）が他の校種と比べて高くなりました。

◆教員の仕事で苦勞していること（複数回答形式） ※上位10位までを表示



・「仕事の悩みを相談する相手がいる」81%、女性では 89%

実際に相談している相手 1 位「同世代の教員」2 位「先輩の教員」3 位「家族」

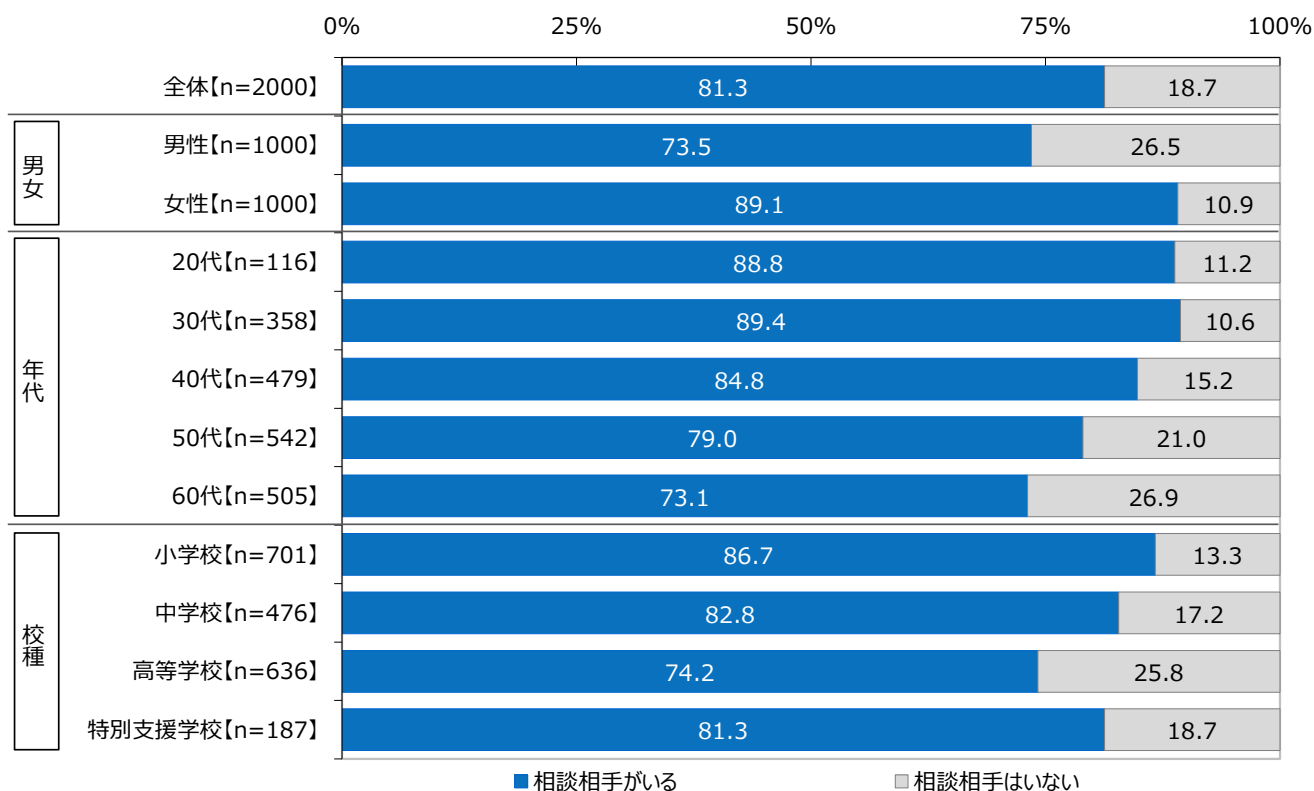
全回答者（2,000 名）に、仕事の悩みを相談している相手がいるか聞いたところ、いる人の割合は 81.3%となりました。

男女別にみると、相談している相手がいる人の割合は、女性では 89.1%と、大多数が仕事の悩みを相談できている結果となった一方、男性では相談している相手がいない人の割合が 26.5%となり、4 人に 1 人は相談相手がいないことがわかりました。

年代別にみると、相談している相手がいる人の割合は、30 代以降では年代が上がるにつれ低くなる傾向がみられ、60 代では 73.1%でした。年代が上がるほど、教員としての豊富な経験や知識を持ち、相談する立場から相談される立場へと変化するのではないのでしょうか。

勤務先の学校種別でみると、相談している相手がいる人の割合は、高等学校の教員では 74.2%と、他の校種と比べて低くなりました。

◆仕事の悩みを相談している相手がいるか



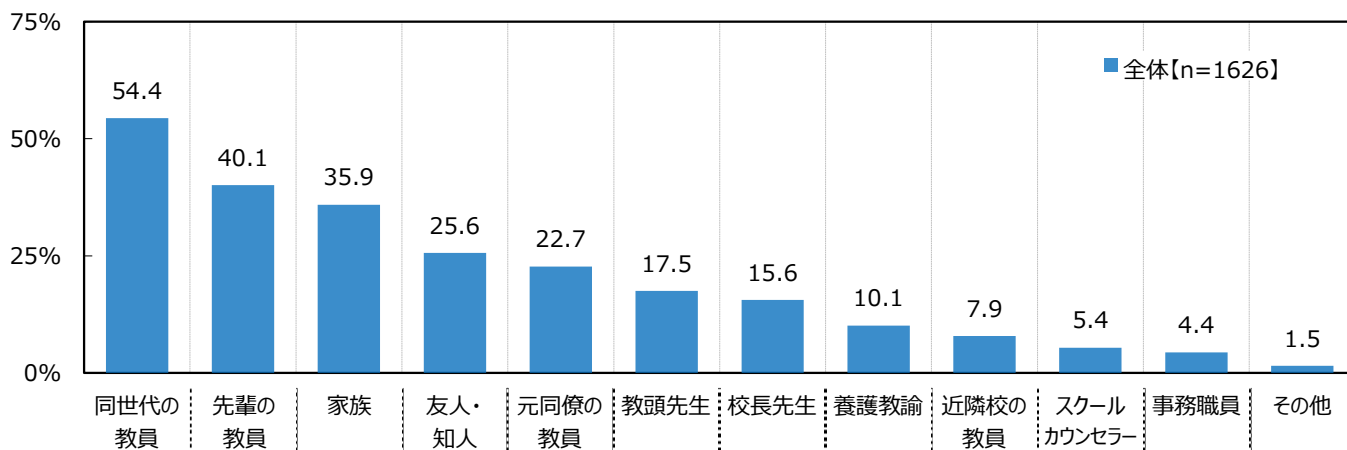
仕事の悩みを相談する相手がいる人（1,626 名）に、仕事の悩みを相談している相手を聞いたところ、1 位「同世代の教員」（54.4%）、2 位「先輩の教員」（40.1%）、3 位「家族」（35.9%）、4 位「友人・知人」（25.6%）、5 位「元同僚の教員」（22.7%）となりました。仕事の悩みに関しては、教員同士だけでなく、家族や友人にも相談する人が多いようです。

男女別にみると、女性では「友人・知人」が 33.6%と、男性（15.9%）と比べて 15 ポイント以上高くなりました。

年代別にみると、20 代では「先輩の教員」（49.5%）が 1 位でした。また、50 代では「校長先生」（21.5%）が他の年代と比較して高くなりました。

勤務先の学校種別でみると、小学校の教員と中学校の教員では「教頭先生」（小学校 19.7%、中学校 21.6%）と「校長先生」（小学校 19.9%、中学校 19.0%）が 20%前後となりました。

◆仕事の悩みを相談している相手（複数回答形式） 対象：仕事の悩みを相談する相手がいる人



◆仕事の悩みを相談している相手（複数回答形式） 対象：仕事の悩みを相談する相手がいる人

	n 数	同世代の教員	先輩の教員	家族	友人・知人	元同僚の教員	教頭先生	校長先生	養護教諭	近隣校の教員	スクールカウンセラー	事務職員	その他
全体	1626	54.4	40.1	35.9	25.6	22.7	17.5	15.6	10.1	7.9	5.4	4.4	1.5
男女													
男性	735	52.8	33.9	30.5	15.9	17.6	21.6	18.0	7.8	8.4	4.1	3.3	1.4
女性	891	55.7	45.2	40.3	33.6	26.9	14.0	13.6	12.1	7.4	6.5	5.4	1.7
年代													
20代	103	46.6	49.5	44.7	37.9	18.4	6.8	10.7	9.7	2.9	1.9	1.9	1.0
30代	320	60.3	58.4	39.4	33.1	22.8	17.5	11.9	13.4	8.1	6.9	4.4	0.6
40代	406	52.5	47.3	34.2	25.6	24.1	19.2	15.8	10.8	5.7	6.4	5.7	1.0
50代	428	55.1	32.0	35.5	20.8	22.7	21.3	21.5	10.7	10.5	5.6	5.4	1.4
60代	369	52.6	23.0	32.5	21.1	22.2	14.1	13.0	6.0	8.4	3.8	2.7	3.3
校種													
小学校	608	55.6	40.8	39.6	27.5	27.1	19.7	19.9	12.8	9.4	6.3	6.9	1.6
中学校	394	50.8	41.1	32.7	23.4	22.1	21.6	19.0	10.7	10.2	7.4	4.8	1.0
高等学校	472	53.6	37.3	33.3	22.5	16.1	13.6	9.3	7.6	5.7	3.8	1.7	1.1
特別支援学校	152	61.2	43.4	36.8	33.6	27.0	9.9	8.6	5.9	2.6	2.0	2.0	3.9

■ 全体比+10pt以上/
 ■ 全体比+5pt以上/
 ■ 全体比-5pt以下/
 ■ 全体比-10pt以下

・新人の先生にかけてあげたいコトバ

「どんどん先輩の先生を頼ろう」「まずは先輩教師を真似ることから」「あなたにしか救えない子どもたちが必ずいる」など

全回答者（2,000 名）に、新人の先生にかけてあげたいコトバを聞いたところ、20 代では「どんどん先輩の先生を頼ろう」や「完璧でなくて大丈夫」、「一年目を乗り越えればなんとかなる」、「若い先生には、若い先生だからこそその良さがある」、「悩みがあれば相談することが大切だよ」、30 代では「目指そうとしたきっかけを忘れずに楽しめ」や「悩みを一人で抱え込まないで」、「無理なく自分のペースで」、「自分の時間をしっかりとること」、「オリジナルより、まずは真似することから始めよう！！」といった回答がみられました。

また、40 代では「10 年・20 年後の子どもの幸せを願って、接していきましょう」や「これだけは譲れないという自分の軸を持ってほしい」、「自分が楽しめていないと、楽しい授業にはならない」、「まずは先輩教師を真似ることから」、「無理せずにできることをやろう」、50 代では「あなたにしか救えない子どもたちが必ずいる」や「気負い過ぎずに長い目で見よう」、「たくさん失敗していいから、何でもチャレンジしてみよう」、「自分の理想を信じて追いかけてほしい」、「人と比べず、自分らしさを大切に」、「適度な息抜きが大切」、60 代では「ありがとうを忘れずに」や「受け身ではなく自分の思ったようにまず動けばいい」、「生徒と本気で向き合おう」、「まず自分でやれるところまで頑張ってみよう」、「置かれたところで咲きなさい」、「無理せず、自分を信じて」といった回答がみられました。

これから教員として教育に携わるにあたって前向きになれるり支えになったりするようなコトバが多く寄せられました。

◆新人の先生にかけてあげたいコトバ（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示

20代

・どんどん先輩の先生を頼ろう（女性・小学校）	・まわりを頼ってね（女性・特別支援学校）
・完璧でなくて大丈夫（男性・小学校）	・ゆっくりでいいので頑張れ（女性・特別支援学校）
・一年目を乗り越えればなんとかなる（女性・小学校）	・若い先生には、若い先生だからこそその良さがある（女性・小学校）
・悩みがあれば相談することが大切だよ（女性・高等学校）	・無理しないでね！（男性・高等学校）

30代

・目指そうとしたきっかけを忘れずに楽しめ（男性・高等学校）	・悩みを一人で抱え込まないで（女性・中学校）
・無理なく自分のペースで（女性・中学校）	・自分の時間をしっかりとること（女性・小学校）
・毎日休まず来ているだけで、1年目は十分！（女性・中学校）	・困ったら何でも言ってほしい（男性・高等学校）
・いろんな挑戦をしよう（男性・高等学校）	・オリジナルより、まずは真似することから始めよう！！（女性・中学校）

40代

・10年・20年後の子どもの幸せを願って、接していきましょう（男性・小学校）	・教師という仕事を選んでくれてありがとう（女性・特別支援学校）
・これだけは譲れないという自分の軸を持ってほしい（女性・中学校）	・自分が楽しめていないと、楽しい授業にはならない（男性・高等学校）
・まずは先輩教師を真似ることから（女性・特別支援学校）	・先生らしくなくていいよ（男性・小学校）
・一つ一つの仕事をていねいにこなしていくこと（男性・小学校）	・無理せずにできることをやろう（男性・中学校）

50代

・あなたにしか救えない子どもたちが必ずいる（男性・小学校）	・気負い過ぎずに長い目で見よう（女性・高等学校）
・たくさん失敗していいから、何でもチャレンジしてみよう（女性・小学校）	・自分の理想を信じて追いかけてほしい（女性・中学校）
・ゆっくり焦らずにやっという（男性・小学校）	・人と比べず、自分らしさを大切に（女性・小学校）
・何でも「教えてください」と言うことができるのは今だけ（女性・中学校）	・適度な息抜きが大切（女性・中学校）

60代

・ありがとうを忘れずに（男性・中学校）	・受け身ではなく自分の思ったようにまず動けばいい（男性・中学校）
・生徒と本気で向き合おう（女性・中学校）	・生徒の目をしっかりと見なさい（男性・高等学校）
・まず自分でやれるところまで頑張ってみよう（女性・中学校）	・置かれたところで咲きなさい（男性・高等学校）
・自分の武器を持ってください（男性・高等学校）	・無理せず、自分を信じて（男性・小学校）

◆スクールカウンセラー・スクールロイヤーについて

・スクールカウンセラー、スクールロイヤーの在籍率 「スクールカウンセラー」は 84%、「スクールロイヤー」は 16%

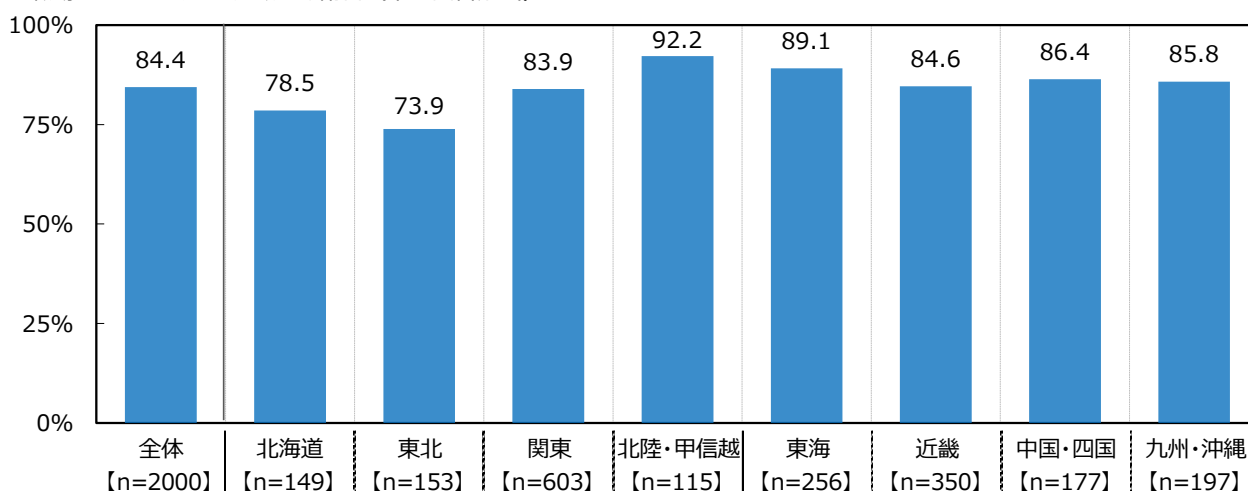
「スクールロイヤー」の在籍率 近畿地方では 19%

学校や児童・生徒の家庭におけるトラブルの発生が問題視されるなかで、児童の心理に関する支援に従事し、児童・生徒、保護者、教職員に対して相談・支援を行うスクールカウンセラーだけでなく、子ども同士のトラブル、いじめ、虐待、保護者からの過剰な要求、事故など、学校で発生するさまざまな問題に対し法的な側面から助言を行うスクールロイヤーといった外部の専門家の教育現場への導入が進められています。

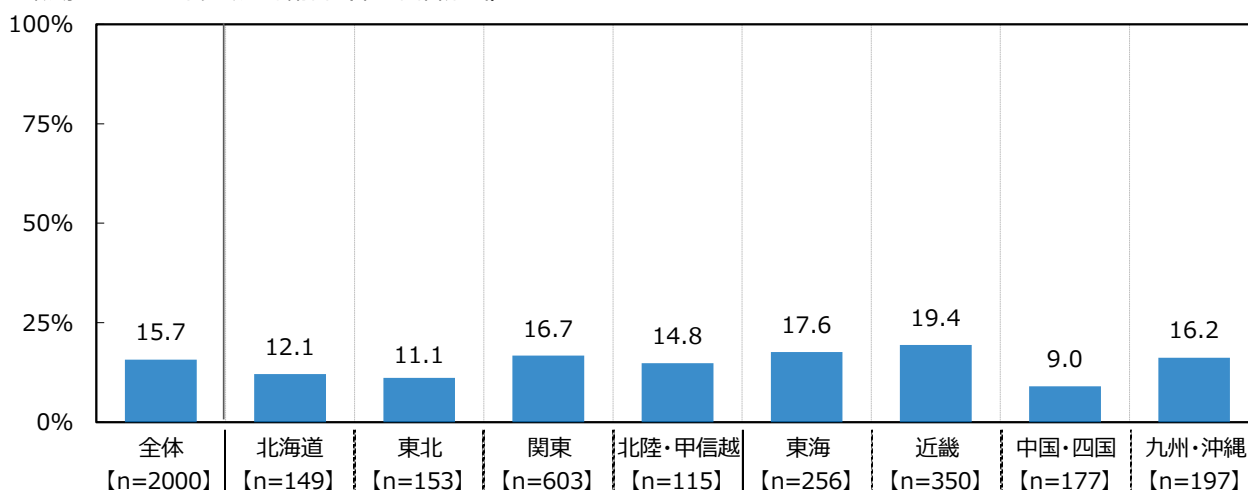
全回答者（2,000 名）に、職場にスクールカウンセラーやスクールロイヤーがいるか聞いたところ、【スクールカウンセラー】では「いる」の割合は 84.4%、【スクールロイヤー】では 15.7%でした。スクールカウンセラーの導入率は高くなった一方、スクールロイヤーについては、導入されていない学校が大多数であることがわかりました。“教員の仕事で苦労していること”では「保護者とのコミュニケーション」が最多となっており、保護者との円滑なコミュニケーションのためにも、スクールロイヤーの配置・導入の必要性がうかがえます。

居住エリア別にみると、【スクールカウンセラー】の在籍率が最も高くなったのは、北陸・甲信越で 92.2%となりました。一方で、東北では 73.9%と、北陸・甲信越より 15 ポイント以上低くなりました。また、【スクールロイヤー】の在籍率は近畿が最も高く、19.4%となった一方、最も低くなった中国・四国では 9.0%と、1 割未満にとどまりました。

◆職場にスクールカウンセラーがいる割合（単一回答形式）



◆職場にスクールロイヤーがいる割合（単一回答形式）



・スクールカウンセラーやスクールロイヤーの必要性の実感

「スクールカウンセラーを必要だと思ったことがある」はスクールカウンセラーが自身の学校にいない人の 62%

「スクールロイヤーを必要だと思ったことがある」はスクールロイヤーが自身の学校にいない人の 67%

職場にスクールカウンセラーがいない人（312 名）に、スクールカウンセラーが必要だと思ったことがあるか聞いたところ、「必要だと思ったことがある」は 61.5%でした。

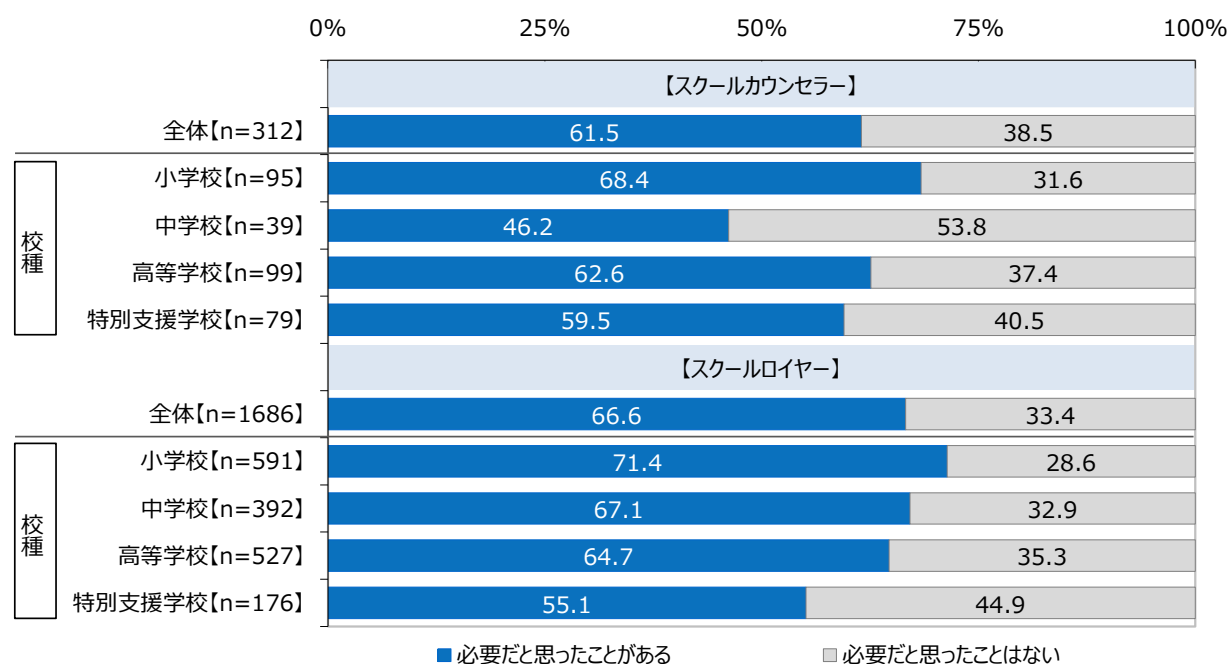
勤務先の学校種別でみると、「必要だと思ったことがある」と回答した人の割合は、小学校の教員では 68.4%でした。

また、職場にスクールロイヤーがいない人（1,686 名）に、スクールロイヤーが必要だと思ったことがあるか聞いたところ、「必要だと思ったことがある」は 66.6%で、3 人に 2 人はスクールロイヤーの必要性を実感したことがあるという結果となりました。

勤務先の学校種別でみると、「必要だと思ったことがある」と回答した人の割合は、小学校の教員では 71.4%と、7 割以上となりました。

◆【スクールカウンセラー】、【スクールロイヤー】を必要だと思ったことがあるか（各単一回答形式）

対象：スクールカウンセラー、スクールロイヤーが学校にいない人



◆子どもたちからもらうコトバについて

・児童・生徒から言われて最もうれしかったコトバ「ありがとう」が 5 年連続 1 位

学校生活で子どもたちからもらうコトバについて質問しました。

全回答者（2,000 名）に、児童・生徒から言われて最もうれしかったコトバを聞いたところ、「ありがとう」（520 名）が最も多くなりました。子どもたちから感謝の言葉を直接伝えられたときに、心からうれしい気持ちになった人が多いようです。以降、2 位「先生が担任・担当でよかった、担任・担当になってほしい」（288 名）、3 位「先生のおかげです」（124 名）、4 位「勉強が好きになった、面白く・楽しくなった」（85 名）、5 位「教え方がうまい、わかりやすい」（72 名）と続きました。

男女別にみると、男女ともに TOP3 は「ありがとう」（男性 339 名、女性 181 名）、「先生が担任・担当でよかった、担任・担当になってほしい」（男性 113 名、女性 175 名）、「先生のおかげです」（男性 65 名、女性 59 名）となり、男性では「教え方がうまい、わかりやすい」（36 名）が 4 位、女性では「好き・大好き、最高」（51 名）が 4 位に挙がりました。

過去の調査結果をあわせてみると、初回である 2022 年調査から 5 年連続で「ありがとう」（2022 年 474 名、2023 年 503 名、2024 年 556 名、2025 年 526 名、2026 年 520 名）が 1 位となりました。

最もうれしかったコトバをもらったときの状況・エピソードをみると、1 位の「ありがとう」では「学年最後のホームルームが終わり、教室に戻ると黒板に書いてあった」や「プレゼントやメッセージカードとともに、言葉で伝えてくれた」といった回答がありました。

◆児童・生徒から言われて最もうれしかったコトバ（自由回答形式） ※上位5位までを表示

	全体【n=2000】		名
1位	ありがとう		520
2位	先生が担任・担当でよかった、担任・担当になってほしい		288
3位	先生のおかげです		124
4位	勉強が好きになった、面白く・楽しくなった		85
5位	教え方がうまい、わかりやすい		72

	男性【n=1000】		名	状況・エピソード（抜粋）	
1位	ありがとう		339	・学年最後のホームルームが終わり、教室に戻ると黒板に書いてあった	
2位	先生が担任・担当でよかった、担任・担当になってほしい		113	・ずっと荒れていた生徒から最後の日に言われた	
3位	先生のおかげです		65	・希望の進路先に合格したことを報告してくれたときに言われた	
4位	教え方がうまい、わかりやすい		36	・担当教員が変わったときに言われた	
5位	勉強が好きになった、面白く・楽しくなった		35	・学校生活を振り返ったとき、良かったことの一つとして話してくれた	

	女性【n=1000】		名	状況・エピソード（抜粋）	
1位	ありがとう		181	・プレゼントやメッセージカードとともに、言葉で伝えてくれた	
2位	先生が担任・担当でよかった、担任・担当になってほしい		175	・友人関係で悩んでいた生徒の相談に何度も乗っていたときに言われた	
3位	先生のおかげです		59	・異動の際に生徒からもらった手紙に書いてあった	
4位	好き・大好き、最高		51	・日常生活で関わるなかで言われた	
5位	勉強が好きになった、面白く・楽しくなった		50	・授業終わりや年度末のアンケートに書かれていた	

	2022年調査【n=2000】		2023年調査【n=2000】		2024年調査【n=2000】		2025年調査【n=2000】
1位	ありがとう	1位	ありがとう	1位	ありがとう	1位	ありがとう
2位	授業がわかりやすかった	2位	先生が担任・担当でよかった	2位	先生が担任・担当でよかった	2位	先生が担任・担当でよかった、担任・担当になってほしい
3位	先生が担任でよかった	3位	授業がわかりやすかった	3位	授業がわかりやすかった	3位	勉強が好きになった、面白く・楽しくなった
4位	好き・大好き	4位	好き・大好き	4位	授業が楽しかった	4位	先生のおかげです
	授業が楽しかった	5位	授業が楽しかった	5位	先生のおかげです	5位	できた、わかった

・児童・生徒から言われて最もへこんだコトバ「授業がわからない・わかりにくい、下手」が3年連続1位

反対に、児童・生徒から言われて最もへこんだ（落ち込んだ）コトバを聞いたところ、1 位「授業がわからない・わかりにくい、下手」（67 名）、2 位「好きじゃない、嫌い」（66 名）、3 位「他の先生のほうがいい」（61 名）、4 位「面白くない・つまらない」（49 名）、5 位「何もしてくれない、わかってくれない」（48 名）となりました。

男女別にみると、男性では1 位「授業がわからない・わかりにくい、下手」（42 名）、2 位「好きじゃない、嫌い」（27 名）、3 位「何もしてくれない、わかってくれない」「面白くない・つまらない」（いずれも 25 名）、女性では1 位「好きじゃない、嫌い」（39 名）、2 位「他の先生のほうがいい」（38 名）、3 位「うるさい、うとうしい」（28 名）となりました。

過去の調査結果とあわせてみると、2024 年調査では「説明がわかりにくい・わからない」、2025 年調査では「授業がわからない・わかりにくい、下手」が1 位となっており、授業や教え方に対する“わかりにくい”というコトバが3 年連続1 位となりました。

最もへこんだコトバを言われたときの状況・エピソードをみると、1 位の「授業がわからない・わかりにくい、下手」では「気合を入れて教えた結果、授業後に言われた」や「授業アンケートのコメントに書かれていた」、2 位の「好きじゃない、嫌い」では「指導していた際、反発されそのときに言われた」や「問題行動を注意したときに言われた」、3 位の「他の先生のほうがいい」では「やる気を見せない生徒を注意したときに」や「1 年目に、授業で話を聞かない生徒を指導しているときに」といった回答がありました。

◆児童・生徒から言われて最もへこんだ（落ち込んだ）コトバ（自由回答形式）※上位5位までを表示

	全体【n=2000】		名
1位	授業がわからない・わかりにくい、下手		67
2位	好きじゃない、嫌い		66
3位	他の先生のほうがいい		61
4位	面白くない・つまらない		49
5位	何もしてくれない、わかってくれない		48

	男性【n=1000】		名	状況・エピソード（抜粋）
1位	授業がわからない・わかりにくい、下手		42	・気合を入れて教えた結果、授業後に言われた
2位	好きじゃない、嫌い		27	・指導していた際、反発されそのときに言われた
3位	何もしてくれない、わかってくれない		25	・一人で悩んでいた生徒に寄り添おうと思い話しかけたときに
	面白くない・つまらない		25	・教員になりたてで自分でもうまくいっていない自覚があった中で授業中に
5位	他の先生のほうがいい		23	・やる気を見せない生徒を注意したときに

	女性【n=1000】		名	状況・エピソード（抜粋）
1位	好きじゃない、嫌い		39	・問題行動を注意したときに言われた
2位	他の先生のほうがいい		38	・1年目に、授業で話を聞かない生徒を指導しているときに
3位	うるさい、うとうしい		28	・良かれと思って諭したときに
4位	授業がわからない・わかりにくい、下手		25	・授業アンケートのコメントに書かれていた
5位	面白くない・つまらない		24	・授業に参加せずおしゃべりばかりしている生徒に理由を尋ねたときに

	2024年調査【n=2000】		名		2025年調査【n=2000】		名
1位	説明がわかりにくい・わからない		98	1位	授業がわからない・わかりにくい、下手		121
2位	面白くない・つまらない		59	2位	好きじゃない、嫌い		74
3位	嫌い		54	3位	面白くない・つまらない		69
4位	先生はわかっていない・わからない		45	4位	他の先生のほうがいい		47
5位	他の先生のほうがよかった		43	5位	うるさい、うとうしい		45

◆子どもたちに身につけてほしいことについて

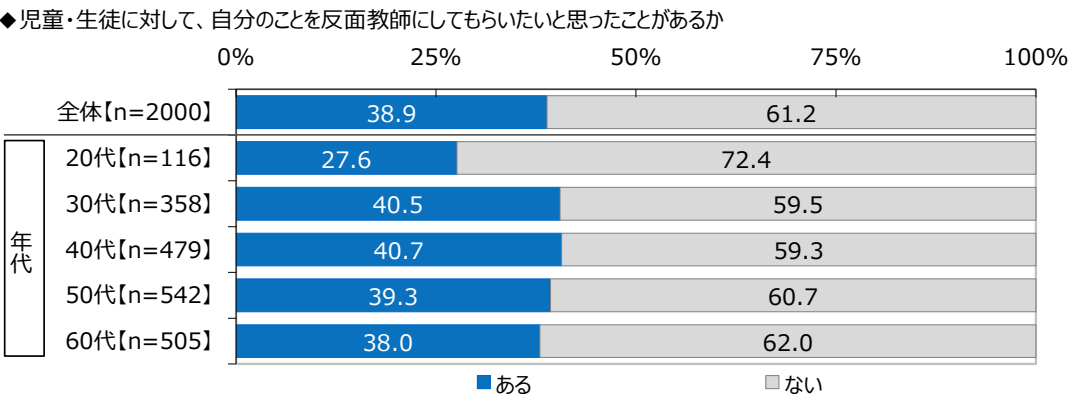
・「児童・生徒に対して、自分のことを反面教師にしてもらいたいと思ったことがある」39%

反面教師にしてもらいたいと思ったところ 「学生時代に勉強をおろそかにしたこと」

「自分のものさしで他者をはかってしまうこと」「保守的で挑戦する気持ちがあまりなかったところ」など

全回答者（2,000 名）に、児童・生徒に対して、自分のことを反面教師にしてもらいたいと思ったことがあるか聞いたところ、「ある」は 38.9%、「ない」は 61.2%となりました。

年代別にみると、20 代では、「ない」の割合が他の年代より高く、72.4%となりました。



児童・生徒に対して、自分のことを反面教師にしてもらいたいと思ったことがある人（777 名）に、反面教師にしてもらいたいと思ったところを聞いたところ、勉強などに関することでは「学生時代に勉強をおろそかにしたこと」や「興味のない科目の勉強をサボったこと」、人間関係・人との向き合い方に関することでは「自分のものさしで他者をはかってしまうこと」や「人見知りなところ」、仕事・働き方に関することでは「家庭と健康を犠牲にして働くこと」、性格・考え方・クセなどに関することでは「感情が表に出過ぎること」や「保守的で挑戦する気持ちがあまりなかったところ」といった回答がみられました。

◆児童・生徒に対して、反面教師にしてもらいたいと思ったところ（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示

対象：児童・生徒に対して、自分のことを反面教師にしてもらいたいと思ったことがある人

全体【n=777】

反面教師にしてもらいたいと思ったところ	
勉強などに関すること	
・学生時代に勉強をおろそかにしたこと	・興味のない科目の勉強をサボったこと
・英語を真面目に学ばなかったこと	・小学生の頃に読書をしなかったこと
人間関係・人との向き合い方に関すること	
・自分のものさしで他者をはかってしまうこと	・人見知りなところ
・気を遣いすぎて、伝えたいことを伝えられない	・生徒のプライベートに入り過ぎた
・視野が狭いこと。思い込みが激しくて、子どもたちの本当の気持ちを聞いてこなかったから	
仕事・働き方に関すること	
・家庭と健康を犠牲にして働くこと	
・若い頃、何もわからなくてひどい授業をしていたこと。ちゃんと周りに相談したらよかった	
性格・考え方・クセなどに関すること	
・感情が表に出過ぎること	・計画性がないところ
・諦めの悪さ	・健康に注意を払わなかったこと
・愚痴を言う。マイナス思考を悪い見本としてほしい	・ふと、言葉の悪さが出る
・結果を求めるあまり、急いでしまうこと	・保守的で挑戦する気持ちがあまりなかったところ
・いいところでもあるかもしれないが、なんともなるわ〜と適当に考えてしまうこと	

◆教育現場における生成 AI の利用について

・「児童・生徒が望ましい使い方で生成 AI を使っていると感じることもある」51%、
「児童・生徒が望ましくない使い方で生成 AI を使っていると感じることもある」58%、
中学校の教員ではいずれも 60%台

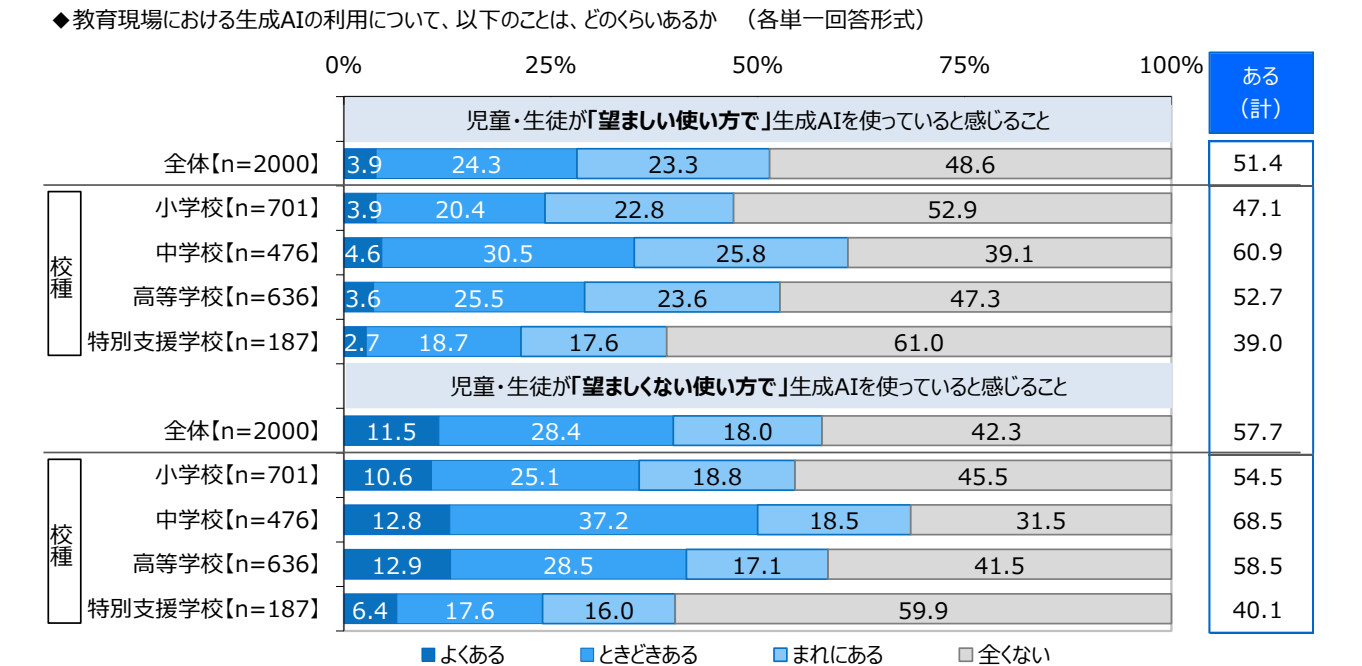
次に、教育現場における生成 AI の利用実態について聞きました。

教育現場における生成 AI の利用について、児童・生徒が「望ましい使い方で」生成 AI を使っていると感じることは、どのくらいあるか聞いたところ、「よくある」は 3.9%、「ときどきある」は 24.3%、「まれにある」は 23.3%で、『ある（計）』は 51.4%となり、児童・生徒の生成 AI 利用に関して、望ましい利用法だと感じたことがある人は半数となりました。

勤務先の学校種別にみると、中学校の教員では、『ある（計）』は 60.9%となりました。

反対に、児童・生徒が「望ましくない使い方で」生成 AI を使っていると感じることで、『ある（計）』は 57.7%となりました。教育現場における、児童・生徒の生成 AI の利用については、望ましい使い方で使っていると感じる場面より、望ましくない使い方で使っていると感じる場面のほうが多い傾向にあるようです。

勤務先の学校種別にみると、感じる割合は、“望ましい使い方とを感じる”割合と同様に、中学校の教員で最も高く、68.5%となりました。



児童・生徒が「望ましい使い方で」生成 AI を使っていると感じることもある人（1,028 名）に、児童・生徒が望ましい使い方で生成 AI を使っていると感じる使い方を聞いたところ、「比較などのグラフを作っているとき」などの作業効率を高めるための使い方や、「AI に練習問題を作らせて、自習に使っていた」や「英語でのいろいろな表現を、生成 AI を用いて調べている姿を見たとき」といった学習を深めるための使い方などが挙がりました。また、「子どもたちがわかりやすく説明する資料を作っているとき」などの成果物の正確性や完成度のための使い方、「面接練習の相手に AI を使いこなしていた」といったアドバイスやアイデアをもらっている使い方、「進路についての調査」といった使い方が挙がりました。

児童・生徒が「望ましくない使い方で」生成 AI を使っていると感じることもある人（1,155 名）に、児童・生徒が望ましくない使い方で生成 AI を使っていると感じる使い方を聞いたところ、「読書感想文をタイトルだけ AI に入力して作成している」、「作文を代筆させる。授業で扱っていない範囲を述べているからすぐにわかる」といった成果物の代行としての使い方、「教師の問いをそのまま生成 AI に質問している」、「AI に頼ってしまい、図書室の本や辞書などを使わない」などの学習面での依存した使い方が挙がったほか、「他人が傷つくような画像を作っていたとき」や「著作権をはじめとした権利の存在に気づかないまま楽しんでいるとき」といったモラルやリテラシーに欠ける使い方、「悩み相談を AI だけに頼っているとき」といった使い方が挙がりました。

◆児童・生徒が望ましい使い方で生成AIを使っていると感じる使い方・

児童・生徒が望ましくない使い方で生成AIを使っていると感じる使い方（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示

対象：児童・生徒が「望ましい使い方で」生成AIを使っていると感じることもある人

または児童・生徒が「望ましくない使い方で」生成AIを使っていると感じることもある人

全体【n=1028】

望ましい使い方	
作業効率を高めている	
・ 比較などのグラフを作っているとき	小学校
・ 自分にどのような考えがあるか整理しているとき	小学校
学習を深めている	
・ 要約をさせ、それを参考にして文章の組み立て方や正しい文章の書き方を学ぶ	小学校
・ 英語の学習（発音など）	中学校
・ AIに練習問題を作らせて、自習に使っていた	中学校
・ 英語でのいろいろな表現を、生成AIを用いて調べている姿を見たとき	高等学校
成果物の正確性や完成度を高めている	
・ 子どもたちがわかりやすく説明する資料を作っているとき	小学校
・ 自分で書いた英文を添削させて、間違った部分を直そうとしている	中学校
アドバイスやアイデアをもらっている	
・ ポスターや動画を作るときなどに、デザインや文章の叩き台をAIに作ってもらっている	小学校
・ 必要な情報にたどり着いたり、対話の練習をしたりするとき	中学校
・ 面接練習の相手にAIを使いこなしていた	高等学校
・ 自分のアイデアを批判させているとき	高等学校
・ クラス旗やTシャツなどのデザイン作成	高等学校
・ マット運動の技を動画にとり、AIに技術的なアドバイスを聞いていた	高等学校
その他	
・ 進路についての調査	高等学校
・ 使用したい旨を申請して、情報部の指導のもと使用している	特別支援学校

全体【n=1155】

望ましくない使い方	
成果物の代行をさせている	
・ 読書感想文をタイトルだけAIに入力して作成している	中学校
・ レポートを自分の頭で考えずにAIに丸投げしているとき	高等学校
・ 作文を代筆させる。授業で扱っていない範囲を述べているからすぐにわかる	高等学校
・ 論作文やレポート、詩や短歌や和歌の作成に用いている節がある	高等学校
学習面で依存している	
・ AIに頼ってしまい、図書室の本や辞書などを使わない	小学校
・ 多様な資料を検討していなかったり、本質的なことで悩まなくなった	小学校
・ 教師の問いをそのまま生成AIに質問している	中学校
モラルのない使い方をしている	
・ 他人が傷つくような画像を作っていたとき	小学校
・ 自分の興味だけで、授業に関係ないことを調べているとき	小学校
・ 不適切な画像の生成	中学校
リテラシーのない使い方をしている	
・ 著作権をはじめとした権利の存在に気づかないまま楽しんでいるとき	高等学校
・ 間違っているかもしれないという意識をもたず、示されたことを全て正しいと思っているとき	特別支援学校
その他	
・ 翻訳機能やアプリに頼り、自分から英語を話すことがないこと	小学校
・ 子どもたちの会話から、年齢にそぐわない情報が出てきたとき	小学校
・ 悩み相談をAIだけに頼っているとき	中学校
・ 謹慎の反省文をAIで書いていたこと	高等学校

・「自分よりも児童・生徒のほうが生成 AI を使いこなしていると感じることがある」74%

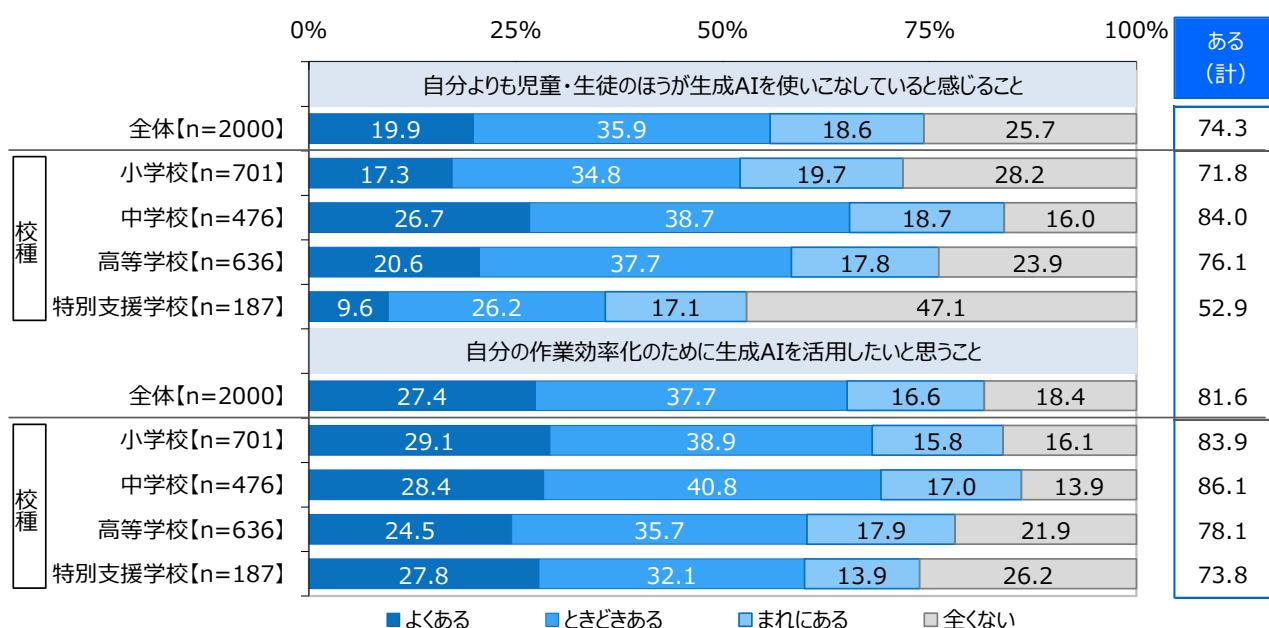
・「自分の作業効率化のために生成 AI を活用したいと思うことがある」82%、活用意向は若年層ほど高くなる傾向

次に、自分よりも児童・生徒のほうが生成 AI を使いこなしていると感じることでは、『ある（計）』は 74.3%となりました。
勤務先の学校種別にみると、中学校の教員では『ある（計）』は 84.0%となりました。

自分の作業効率化のために生成 AI を活用したいと思うことでは、『ある（計）』は 81.6%となりました。

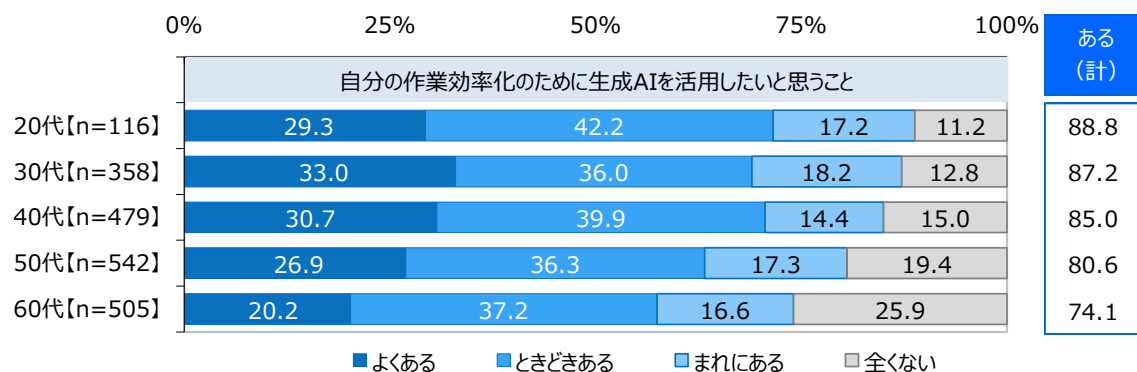
勤務先の学校種別にみると、思うことがある人の割合は、小学校の教員（83.9%）と中学校の教員（86.1%）では 8割以上でした。

◆教育現場における生成AIの利用について、以下のことは、どのくらいあるか（各単一回答形式）



自分の作業効率化のために生成 AI を活用したいと思うことについて、年代別にみると、『ある（計）』は年代が下がるにつれて高くなる傾向がみられ、20代では 88.8%、30代では 87.2%となりました。

【年代別】◆教育現場における生成AIの利用について、以下のことは、どのくらいあるか（各単一回答形式）



◆子どもに薦めたいエンタメについて

・授業の教材として最も活用したいマンガ 1位「ドラえもん」2位「SLAM DUNK」3位「ONE PIECE」

授業の教材として最も活用したいマンガのタイトルを聞いたところ、1位「ドラえもん」（109名）、2位「SLAM DUNK」（82名）、3位「ONE PIECE」（63名）、4位「はたらく細胞」（45名）、5位「はだしのゲン」（41名）となりました。

TOP3となった回答について、活用したいと思う理由をみると、1位の「ドラえもん」では「のび太との会話に教材となるものが多いから」や「秘密道具に創造性を感じられる」、2位の「SLAM DUNK」では「困難に打ち勝つための要素がたくさんあるから」、3位の「ONE PIECE」では「さまざまな歴史的、地理的要素がつまっているから」といった回答がありました。そのほか、「鬼滅の刃」では「子どもたちの中で圧倒的な知名度があるため、とっつきやすい。大正時代の様子が見えるから」、「サザエさん」では「家庭科の教員として、家の間取りや家族構成など、よく活用していたから」といった回答もみられました。

男女別にみると、TOP3は男性・女性ともに「ドラえもん」、「SLAM DUNK」、「ONE PIECE」となりました。また、女性では古典作品の源氏物語を漫画化した「あさきゆめみし」が5位にランクインしました。

◆授業の教材として最も活用したいマンガのタイトル・活用したいと思う理由（自由回答形式）

※全体の結果は上位10位、男女別の結果は上位5位までを表示

	全体【n=2000】	名	理由（抜粋）
1位	ドラえもん	109	・のび太との会話に教材となるものが多いから ・秘密道具に創造性を感じられる ・それぞれのキャラクターの設定がはっきりしているので、さまざまな場面で活用できるから
2位	SLAM DUNK	82	・困難に打ち勝つための要素がたくさんあるから ・チームとして成長する過程でそれぞれの役割があってわかりやすいから
3位	ONE PIECE	63	・さまざまな歴史的、地理的要素がつまっているから ・人権問題を扱っているから
4位	はたらく細胞	45	・実は難しい内容だが子どもでも受け入れやすい
5位	はだしのゲン	41	・戦争教材として具体性が高い
6位	ドラゴン桜	33	・生徒が悩んでいることがリアルに描かれていて、共感しやすい
7位	アンパンマン	30	・悪いことをしていても決して悪者とせず、よくなる道を見つけるから
8位	鬼滅の刃	25	・子どもたちの中で圧倒的な知名度があるため、とっつきやすい。大正時代の様子が見えるから
9位	サザエさん	24	・家庭科の教員として、家の間取りや家族構成など、よく活用していたから
10位	あさきゆめみし	22	・源氏物語の流れを理解するのに役立つ
	名探偵コナン	22	・論理的に読み取り、推理する力が身につくから

	男性【n=1000】	名		女性【n=1000】	名
1位	ドラえもん	54	1位	ドラえもん	55
2位	SLAM DUNK	39	2位	SLAM DUNK	43
3位	ONE PIECE	30	3位	ONE PIECE	33
4位	はだしのゲン	24	4位	はたらく細胞	32
	ドラゴン桜	24	5位	あさきゆめみし	20

・児童・生徒に最も薦めたい YouTube チャンネル

「QuizKnock」「小島よしおのおっぱぴー小学校」

「中田敦彦の YouTube 大学 - NAKATA UNIVERSITY」が同数で 1 位！

次に、児童・生徒に最も薦めたい YouTube チャンネルを聞いたところ、1 位は「QuizKnock」、「小島よしおのおっぱぴー小学校」、「中田敦彦の YouTube 大学 - NAKATA UNIVERSITY」（いずれも 10 名）となりました。以降、4 位「HikakinTV」（9 名）、5 位「予備校のノリで学ぶ『大学の数学・物理』」（7 名）の順となりました。

1 位となった 3 つのチャンネルについて、薦めたいと思う理由をみると、「QuizKnock」では「面白くて勉強になる。子どもに真似してほしくないと思うような乱暴な言葉や企画がない」や「知識のある人たちが、それを使って楽しく遊んでいる様子を見てほしい」、「小島よしおのおっぱぴー小学校」では「面白くわかりやすく教えてくれているから」や「悩みごとを解決していて話が優しい」、「中田敦彦の YouTube 大学 - NAKATA UNIVERSITY」では「知識と教養、コミュニケーションスキルが身につく」、「わかりやすく説明していると思うし、中学生に知っておいてほしいことが多くある」といった回答がありました。

◆児童・生徒に最も薦めたいYouTubeチャンネル・薦めたいと思う理由（自由回答形式）※上位7位までを表示

	全体【n=2000】	名	理由（抜粋）
1位	QuizKnock	10	・面白くて勉強になる。子どもに真似してほしくないと思うような乱暴な言葉や企画がない ・知識のある人たちが、それを使って楽しく遊んでいる様子を見てほしい ・学びを楽しみと感ぜられるから
	小島よしおのおっぱぴー小学校	10	・面白くわかりやすく教えてくれているから ・悩みごとを解決していて話が優しい ・わかりやすく算数を教えているのを見たことがあるから
	中田敦彦のYouTube大学 - NAKATA UNIVERSITY	10	・知識と教養、コミュニケーションスキルが身につく ・ジャンルが幅広いから ・わかりやすく説明していると思うし、中学生に知っておいてほしいことが多くある
4位	HikakinTV	9	・児童の興味がある分野がありそう
5位	予備校のノリで学ぶ「大学の数学・物理」	7	・数学が、面白いことがわかる
6位	Kevin's English Room / 掛山ケビ志郎	6	・日本人が思う英語に関する素朴な疑問をいつも解決してくれ、スッキリするから
7位	wakatte.tv	4	・大学のことを学べる
	両学長リベラルアーツ大学	4	・お金の知識は早くからあったほうが得だから

◆教科に対する意識・実感について

・子どもの頃に好きだった教科 男性・女性ともに 1 位は「算数・数学」

担当教科別では、現在担当している教科が“子どもの頃に好きだった教科”で 1 位

好きだった理由 算数・数学「居残りでていねいに指導してくれたから」、社会「歴史は、説が年々増えるから」、

音楽「先生に歌唱力を褒められたから」など

教員の教科に対する意識・実感を聞きました。

全回答者（2,000 名）に、子どもの頃に好きだった教科を聞いたところ、男性・女性ともに、「算数・数学」（男性 253 名、女性 183 名）が 1 位となりました。以降、男性では 2 位「社会」（234 名）、3 位「保健・体育」（157 名）、4 位「理科」（114 名）、5 位「外国語（英語含む）」（68 名）、女性では 2 位「音楽」（151 名）、3 位「保健・体育」（148 名）、4 位「国語」（125 名）、5 位「外国語（英語含む）」（90 名）が続きました。

担当教科別にみると、国語を担当している人では「国語」、算数・数学を担当している人では「算数・数学」、外国語（英語含む）を担当している人では「外国語（英語含む）」、社会を担当している人では「社会」、理科を担当している人では「理科」と、それぞれの担当教科が 1 位となりました。子どもの頃に好きだった教科が自身の担当教科になっている教員が多いようです。また、担当教科がない人では「保健・体育」が 1 位でした。

◆子どもの頃に好きだった教科（自由回答形式） ※男女別は上位7位まで、担当教科別では上位5位までを表示

	男性【n=1000】	名		女性【n=1000】	名
1位	算数・数学	253	1位	算数・数学	183
2位	社会	234	2位	音楽	151
3位	保健・体育	157	3位	保健・体育	148
4位	理科	114	4位	国語	125
5位	外国語（英語含む）	68	5位	外国語（英語含む）	90
6位	国語	53	6位	社会	88
7位	美術・図工	24	7位	美術・図工	47

	国語【n=220】			算数・数学【n=302】			外国語（英語含む）【n=241】	
1位	国語	73	1位	算数・数学	191	1位	外国語（英語含む）	109
2位	算数・数学	34	2位	保健・体育	28	2位	算数・数学	36
3位	社会	32	3位	社会	19	3位	国語	21
4位	保健・体育	27	4位	理科	12	4位	社会	19
5位	音楽	13		外国語（英語含む）	12	5位	音楽	18
	社会【n=236】			理科【n=199】			なし（全教科含む）【n=308】	
1位	社会	150	1位	理科	86	1位	保健・体育	58
2位	保健・体育	25	2位	算数・数学	39	2位	算数・数学	47
3位	算数・数学	15	3位	社会	21	3位	音楽	29
4位	国語	12	4位	保健・体育	20		社会	29
5位	理科	9	5位	外国語（英語含む）	8	5位	国語	25

好きだった理由をみると、国語では「漢字の歴史が好き」や「字の綺麗な国語の先生がいたから」、算数・数学では「苦手な計算を居残りでいていないに指導してくれたから」や「さまざまな方法で答えが導き出すことができ、明確な答えがあるから」、外国語では「異文化への興味」や「文法に興味があった」といった理由が挙げられました。

そのほか、社会では「歴史や社会の仕組みに興味があったから」や「歴史は、説が年々増えるから」、理科では「理論と実際の出来事がリンクしたから」や「観察が好きだから」などの回答がみられました。

また、保健・体育では「遊び感覚」や「勉強が嫌いで運動が得意だった」、音楽では「リコーダーで演奏するのが好きだったから」や「先生に歌唱力を褒められたから」といった回答がありました。

◆子どもの頃に好きだった教科・理由（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示、（）内は担当教科

国語		算数・数学	
好きだった理由		好きだった理由	
・暗記に頼らずにすむから（国語） ・漢字の歴史が好き（国語） ・字の綺麗な国語の先生がいたから（外国語） ・何を発表してもほとんどのことが正解だったから（理科）		・三平方の定理に感動した（算数・数学） ・苦手な計算を居残りでいていないに指導してくれたから（算数・数学） ・さまざまな方法で答えが導き出すことができ、明確な答えがあるから（理科） ・数式が美しいから（美術）	
外国語		社会	
好きだった理由		好きだった理由	
・異文化への興味（国語） ・文法に興味があった（外国語） ・日本語以外の言語でコミュニケーションをとることが楽しかったから（外国語） ・語学が好きだから（理科）		・歴史や社会の仕組みに興味があったから（国語） ・旅行が好きだから（理科） ・歴史は、説が年々増えるから（社会） ・自宅に史料が多くて身近だったから（社会）	
理科		保健・体育	
好きだった理由		好きだった理由	
・理論と実際の出来事がリンクしたから（なし） ・観察が好きだから（理科） ・天体や生物に興味があったから（理科） ・物理が楽しい（保健・体育）		・遊び感覚（国語） ・体を動かすのが好きで、活躍できたから（音楽） ・勉強が嫌いで運動が得意だった（保健・体育） ・体を動かすのが好きだったから（技術・家庭）	
音楽			
好きだった理由			
・リコーダーで演奏するのが好きだったから（なし） ・歌やリズム打ちが楽しみだった（国語） ・先生に歌唱力を褒められたから（音楽） ・さまざまな音楽を知りたいと思っていたから（音楽）			

・子どもの頃に嫌いだった教科 男性では 1 位「国語」、女性では 1 位「算数・数学」

文系教科の担当教員では「算数・数学」、理系教科の担当教員では「国語」が 1 位！

嫌いだった理由 国語「作者の気持ちは作者にしかわからない」、算数・数学「公式を汎化できなかったから」、保健・体育「水やボールなど、恐怖を感じる場面が多かった」など

反対に、子どもの頃に嫌いだった教科を聞いたところ、男性では 1 位「国語」（153 名）、2 位「算数・数学」（128 名）、3 位「美術・図工」（116 名）、4 位「保健・体育」（103 名）、5 位「外国語（英語含む）」（98 名）となりました。女性では 1 位「算数・数学」（217 名）、2 位「保健・体育」（209 名）、3 位「社会」（101 名）、4 位「理科」（88 名）、5 位「美術・図工」（80 名）となりました。

担当教科別にみると、国語や外国語（英語含む）、社会をそれぞれ担当している人と、担当教科がない人では、「算数・数学」が 1 位となりました。また、算数・数学や理科をそれぞれ担当している人では「国語」が 1 位となりました。担当教科が文系の人では「算数・数学」、担当教科が理系の人では「国語」が、「子どもの頃に嫌いだった教科」になっているようです。

◆子どもの頃に嫌いだった教科（自由回答形式） ※男女別は上位7位まで、担当教科別では上位5位までを表示

	男性【n=1000】	名		女性【n=1000】	名
1位	国語	153	1位	算数・数学	217
2位	算数・数学	128	2位	保健・体育	209
3位	美術・図工	116	3位	社会	101
4位	保健・体育	103	4位	理科	88
5位	外国語（英語含む）	98	5位	美術・図工	80
6位	音楽	94	6位	国語	71
7位	理科	59	7位	外国語（英語含む）	40

	国語【n=220】			算数・数学【n=302】			外国語（英語含む）【n=241】	
1位	算数・数学	59	1位	国語	66	1位	算数・数学	46
2位	保健・体育	46	2位	社会	40	2位	保健・体育	44
3位	美術・図工	23	3位	保健・体育	37	3位	美術・図工	27
4位	音楽	19	4位	美術・図工	33	4位	社会	26
5位	理科	16	5位	外国語（英語含む）	29	5位	国語	23

	社会【n=236】			理科【n=199】			なし（全教科含む）【n=308】	
1位	算数・数学	63	1位	国語	38	1位	算数・数学	46
2位	保健・体育	37	2位	保健・体育	30	2位	保健・体育	44
3位	理科	27	3位	外国語（英語含む）	24	3位	美術・図工	27
4位	美術・図工	24	4位	美術・図工	22	4位	社会	26
5位	外国語（英語含む）	21	5位	音楽	17	5位	国語	23

嫌いだった理由をみると、国語では「作者の気持ちは作者にしかわからない」や「どう勉強してよいかわからないから」、算数・数学では「公式を覚えたりしても汎化できなかったから」や「計算ドリルが嫌いだった」、外国語では「直感的に理解できないので」や「人前で話すのが嫌だった」といった回答がありました。

また、社会では「地方の野菜など特産物がややこしくて、覚えるのが苦手」や「名字が同じ人が大勢いて、誰のことか混乱したから」、理科では「何を勉強しているのかわからないから」や「すでにわかっていることを実験することにわざとらしさを感じた」などの理由が挙げられました。

保健・体育では「思った通りに体を操れない」や「苦手だった。水やボールなど、恐怖を感じる場面が多かった」、美術・図工では「作品作りに時間がかかる」や「努力しても上達しないから」などの回答がみられました。

◆子どもの頃に嫌いだった教科・理由（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示、（）内は担当教科

国語		算数・数学	
嫌いだった理由		嫌いだった理由	
・読解が苦手だったから（国語） ・作者の気持ちは作者にしかわからない（算数・数学） ・どう勉強してよいかわからないから（保健・体育） ・好きに読ませてほしい（美術）		・空間図形が苦手（国語） ・公式を覚えたりしても汎化できなかったから（外国語） ・計算ドリルが嫌いだった（算数・数学） ・公式の意味がわからない（情報）	
外国語		社会	
嫌いだった理由		嫌いだった理由	
・直感的に理解できないので（国語） ・覚えなくてはいけないことが多い（算数・数学） ・人前で話すのが嫌だった（理科） ・発音が悪いから（商業）		・地方の野菜など特産物がややこしくて、覚えるのが苦手（国語） ・名字が同じ人が大勢いて、誰のことか混乱したから（外国語） ・歴史の流れを覚えられなかったから（算数・数学） ・ひたすら板書を写すだけの授業だったから（音楽）	
理科		保健・体育	
嫌いだった理由		嫌いだった理由	
・何でその実験をするのか意味がわからないから（国語） ・何を勉強しているのかわからないから（外国語） ・生き物が苦手（算数・数学） ・すでにわかっていることを実験することにわざとらしさを感じた（美術）		・思った通りに体を操れない（算数・数学） ・悪い意味で目立ったりみんなに迷惑をかけたりすることが嫌だった（音楽） ・苦手だった。水やボールなど、恐怖を感じる場面が多かった（音楽） ・とにかく苦手で、努力してもカバーできないと思ってしまったので（技術・家庭）	
美術・図工			
嫌いだった理由			
・オリジナルの作品が難しい（なし） ・作品作りに時間がかかる（国語） ・努力しても上達しないから（算数・数学） ・何が正解かわからなかったため（音楽）			

・大人になって実は役立つということがわかった教科 男性・女性ともに 1 位「算数・数学」

役立つシーン・役立つことがわかった場面 算数・数学「シミュレーションや予測」、

社会「制度や世の中の仕組みの理解が必要だと思った」、技術・家庭「お金の使い方や生活全般」など

また、子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科を聞いたところ、男性・女性ともに「算数・数学」（男性 159 名、女性 146 名）が 1 位となり、男性では 2 位「社会」（122 名）、3 位「国語」（107 名）、4 位「外国語（英語含む）」（106 名）、5 位「技術・家庭」（71 名）、女性では 2 位「技術・家庭」（140 名）、3 位「社会」（131 名）、4 位「理科」（87 名）、5 位「国語」（83 名）となりました。

担当教科別にみると、国語や外国語（英語含む）、社会をそれぞれ担当している人と、担当教科がない人では、子どもの頃に嫌いだっただ教科と同様に「算数・数学」が 1 位となりました。また、理科を担当している人でも 1 位は「算数・数学」でした。算数・数学を担当している人では「社会」が 1 位となりました。

◆子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科 （自由回答形式）

※男女別は上位7位まで、担当教科別では上位5位までを表示

	男性【n=1000】	名		女性【n=1000】	名
1位	算数・数学	159	1位	算数・数学	146
2位	社会	122	2位	技術・家庭	140
3位	国語	107	3位	社会	131
4位	外国語（英語含む）	106	4位	理科	87
5位	技術・家庭	71	5位	国語	83
6位	理科	50	6位	外国語（英語含む）	72
7位	保健・体育	23	7位	保健・体育	17

	国語【n=220】			算数・数学【n=302】			外国語（英語含む）【n=241】	
1位	算数・数学	42	1位	社会	44	1位	算数・数学	37
2位	社会	35	2位	外国語（英語含む）	36	2位	社会	36
3位	技術・家庭	26	3位	算数・数学	33	3位	技術・家庭	35
4位	国語	22	4位	技術・家庭	31	4位	外国語（英語含む）	22
5位	外国語（英語含む）	15	5位	国語	22	5位	理科	18

	社会【n=236】			理科【n=199】			なし（全教科含む）【n=308】	
1位	算数・数学	44	1位	算数・数学	32	1位	算数・数学	43
2位	社会	34	2位	国語	27	2位	社会	31
3位	外国語（英語含む）	30	3位	理科	24	3位	国語	27
4位	国語	24	4位	社会	21	4位	技術・家庭	23
5位	技術・家庭	21	5位	外国語（英語含む）	18	5位	理科	20

役立つシーン・役立つことがわかった場面をみると、国語では「仕事でいろいろな書類を読んで理解しなければいけないシーン」や「AI へのプロンプトなどは、適切な文章でなければうまくいかないから」、算数・数学では「シミュレーションや予測」や「算数の論理的な考え方が作文や資料作りに役立つ」、英語では「少しは海外のニュースを知りたいと思ったとき」や「外国からの転校生がじわじわと増えてきた」などが挙げられました。

また、社会では「自立して、制度や世の中の仕組みの理解が必要だと思った」や「旅行に行ったときに歴史がわかるとより深く楽しめる」、理科では「地震とか天気とか、生活と密接している」や「生活の中で化学の知識が意外と活用されるから」、技術・家庭では「お金の使い方や生活全般」や「防災対策など日常生活に欠かせない知恵がつまっている」といった回答がありました。

◆子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科・役立つシーンや役立つことがわかった場面（自由回答形式）

※回答を抜粋して表示、（）内は担当教科

国語		算数・数学	
役立つシーン・役立つことがわかった場面		役立つシーン・役立つことがわかった場面	
・正しい日本語を意識して書いたり話したりするとき（理科） ・仕事でいろいろな書類を読んで理解しなければいけないシーン（社会） ・語彙力や表現力で相手に想いを伝える（算数・数学） ・AIへのプロンプトなどは、適切な文章でなければうまくいかないから（社会）		・導き方、数字だけではなく過程が大切だということ（なし） ・シミュレーションや予測（理科） ・算数の論理的な考え方が作文や資料作りに役立つ（理科） ・景気や経済の成長を理解できる（社会）	
外国語		社会	
役立つシーン・役立つことがわかった場面		役立つシーン・役立つことがわかった場面	
・キャリアの幅が広がる（なし） ・少しは海外のニュースを知りたいと思ったとき（国語） ・外国からの転校生がじわじわと増えてきた（理科） ・映画や小説などの娯楽も英語で楽しめるので（技術・家庭）		・自立して、制度や世の中の仕組みの理解が必要だと思った（国語） ・旅行に行ったときに歴史がわかるとより深く楽しめる（算数・数学） ・社会のしくみ、歴史的流れがわかったとき（保健・体育） ・社会常識を求められる場面など（情報）	
理科		技術・家庭	
役立つシーン・役立つことがわかった場面		役立つシーン・役立つことがわかった場面	
・地震とか天気とか、生活と密接している（外国語） ・動植物のことや自然の仕組みに詳しいと世界が広がって見える（理科） ・理由を考えるのは他のところにも繋がるから（理科） ・生活の中で化学の知識が意外と活用されるから（音楽）		・お金の使い方や生活全般（なし） ・栄養素や洗濯のことなど、すべてが生活に直結している（外国語） ・家庭生活で洗濯や料理など実生活で役に立つことが一番多い（音楽） ・防災対策など日常生活に欠かせない知恵がつまっている（美術）	

◆職業観・結婚観について

・子どもの頃に就きたかった職業 男性・女性ともに「教員」がダントツ！

憧れの職業について質問しました。

全回答者（2,000 名）に、子どもの頃に就きたかった職業を聞いたところ、男性・女性ともに「教員」（男性 35.2%、女性 39.2%）が突出しました。子どもの頃に抱いていた夢を叶えて教職に就いたという人が多いのではないのでしょうか。以降、男性では 2 位「プロスポーツ選手」（16.4%）、女性では 2 位「保育士・幼稚園教諭」（16.1%）、3 位は男女ともに「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（男性 16.1%、女性 12.4%）となりました。

過去の調査結果と比較すると、男性の TOP5 は「教員」「プロスポーツ選手」「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」「大学教授・研究者」「パイロット」で、2024 年調査から 3 年連続で同じ職業が上位 5 位に入りました。また、女性では TOP4 が「教員」「保育士・幼稚園教諭」「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」「キャビンアテンダント」となり、昨年の 2025 年調査と同様の順位となりました。

◆子どもの頃に就きたかった職業（複数回答形式）

※2026年の結果は上位10位、2024年・2025年の結果は上位5位までを表示

2026年調査：男性【n=1000】			2026年調査：女性【n=1000】		
		%			%
1位	教員	35.2	1位	教員	39.2
2位	プロスポーツ選手	16.4	2位	保育士・幼稚園教諭	16.1
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	16.1	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	12.4
4位	大学教授・研究者	9.8	4位	キャビンアテンダント	9.3
5位	パイロット	8.4	5位	看護師	8.0
6位	医師	7.6	6位	歌手・ミュージシャン	7.9
7位	建築家・大工	4.9	7位	料理人・パティシエ	7.8
8位	警察官・消防官・自衛官	4.8	8位	医師	6.9
9位	弁護士	4.5	9位	小説家	6.5
10位	会社員	4.4	10位	芸術家	6.3

2025年調査：男性【n=1283】			2025年調査：女性【n=717】		
		%			%
1位	教員	33.7	1位	教員	39.2
2位	プロスポーツ選手	20.0	2位	保育士・幼稚園教諭	14.2
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	14.0	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	12.8
4位	パイロット	9.7	4位	キャビンアテンダント	8.5
5位	大学教授・研究者	8.0	5位	料理人・パティシエ	7.9

2024年調査：男性【n=1320】			2024年調査：女性【n=680】		
		%			%
1位	教員	37.3	1位	教員	44.0
2位	プロスポーツ選手	18.6	2位	保育士・幼稚園教諭	16.2
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	13.2	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	12.6
4位	パイロット	9.7	4位	看護師	8.4
5位	大学教授・研究者	9.2	5位	料理人・パティシエ	7.8

※2024 年調査：『教員の意識に関する調査 2024』（2024 年 7 月 12 日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20240712.pdf

2025 年調査：『教員の意識に関する調査 2025』（2025 年 7 月 10 日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20250710.pdf

・生まれ変わったら何になりたい？

男性 TOP3 「教員」「大学教授・研究者」「公務員」、女性 TOP3 「教員」「公務員」「医師」

生まれ変わったら就きたい職業を聞いたところ、男性・女性ともに 1 位は「教員」（男性 21.7%、女性 17.3%）となり、男性では 2 位「大学教授・研究者」（12.6%）、3 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（10.7%）、女性では 2 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（10.1%）、3 位「医師」（9.7%）でした。

過去の調査結果と比較すると、男性・女性ともに、「教員」は 2024 年調査（男性 18.0%、女性 14.6%）、2025 年調査（男性 16.1%、女性 14.2%）に引き続き 1 位でした。

◆生まれ変わったら就きたい職業（複数回答形式）
※2026年の結果は上位10位、2024年・2025年の結果は上位5位までを表示

	2026年調査：男性【n=1000】	%		2026年調査：女性【n=1000】	%
1位	教員	21.7	1位	教員	17.3
2位	大学教授・研究者	12.6	2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	10.1
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	10.7	3位	医師	9.7
4位	医師	9.9	4位	キャビンアテンダント	8.7
5位	プロスポーツ選手	9.8	5位	薬剤師	8.5
6位	パイロット	7.7	6位	歌手・ミュージシャン	7.5
7位	歌手・ミュージシャン	6.2	7位	料理人・パティシエ	7.2
	建築家・大工	6.2	8位	芸術家	5.8
	芸術家	5.5	9位	タレント・俳優	5.4
9位	タレント・俳優	5.5	10位	大学教授・研究者	5.0
				小説家	5.0

	2025年調査：男性【n=1283】	%		2025年調査：女性【n=717】	%
1位	教員	16.1	1位	教員	14.2
2位	プロスポーツ選手	12.3	2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	10.5
3位	大学教授・研究者	10.2	3位	医師	10.3
4位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	10.1	4位	歌手・ミュージシャン	7.1
5位	医師	9.7		キャビンアテンダント	7.1

	2024年調査：男性【n=1320】	%		2024年調査：女性【n=680】	%
1位	教員	18.0	1位	教員	14.6
2位	大学教授・研究者	12.7	2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	8.8
3位	プロスポーツ選手	12.3	3位	医師	8.7
4位	医師	10.0		キャビンアテンダント	8.7
5位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	8.9	5位	料理人・パティシエ	7.5

・どのような職業の人と結婚した？ 男性回答・女性回答ともに 1 位「教員」

・どのような職業の人と結婚したい？ 未婚男性では「教員」が 1 位、未婚女性では「公務員」が 1 位

結婚相手について質問しました。

まず、既婚者（男性 856 名、女性 707 名）に、どのような職業の人と結婚したか聞いたところ、男性・女性ともに 1 位「教員」（男性 31.1%、女性 34.5%）、2 位「会社員」（男性 28.0%、女性 34.1%）、3 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（男性 10.7%、女性 12.4%）となりました。以降、男性では 4 位「保育士・幼稚園教諭」（7.0%）、5 位「看護師」（5.4%）、女性では 4 位「警察官・消防官・自衛官」（3.0%）、5 位「料理人・パティシエ」（1.7%）となりました。

過去の調査結果と比較すると、女性では「教員」が 2025 年の調査（36.1%）に引き続き、2 年連続の 1 位となりました。

◆どのような職業の人と結婚したか（単一回答形式）

※2026年の結果は上位10位、2024年・2025年の結果は上位5位までを表示 対象：既婚者

2026年調査：男性【n=856】			2026年調査：女性【n=707】		
		%			%
1位	教員	31.1	1位	教員	34.5
2位	会社員	28.0	2位	会社員	34.1
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	10.7	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	12.4
4位	保育士・幼稚園教諭	7.0	4位	警察官・消防官・自衛官	3.0
5位	看護師	5.4	5位	料理人・パティシエ	1.7
6位	薬剤師	0.8	6位	大学教授・研究者	1.4
7位	料理人・パティシエ	0.7	7位	看護師	1.3
	芸術家	0.7		建築家・大工	1.3
9位	歌手・ミュージシャン	0.6	9位	医師	0.6
10位	大学教授・研究者	0.4	10位	保育士・幼稚園教諭 / 芸術家 / デザイナー / 冒険家 / YouTuber・TikToker	0.4
	デザイナー	0.4			

2025年調査：男性【n=1089】			2025年調査：女性【n=504】		
		%			%
1位	教員	32.1	1位	教員	36.1
2位	会社員	27.2	2位	会社員	31.3
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	10.3	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	13.1
4位	保育士・幼稚園教諭	5.9	4位	警察官・消防官・自衛官	2.8
5位	看護師	4.8	5位	建築家・大工	2.4

2024年調査：男性【n=1133】			2024年調査：女性【n=471】		
		%			%
1位	教員	31.8	1位	会社員	35.9
2位	会社員	24.4	2位	教員	31.4
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	9.8	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	13.2
4位	保育士・幼稚園教諭	7.5	4位	警察官・消防官・自衛官	2.5
5位	看護師	5.0	5位	建築家・大工	2.1

※2024 年調査：『教員の意識に関する調査 2024』（2024 年 7 月 12 日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20240712.pdf

2025 年調査：『教員の意識に関する調査 2025』（2025 年 7 月 10 日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20250710.pdf

次に、未婚者（男性 144 名、女性 293 名）に、どのような職業の人と結婚したいと思うか聞いたところ、男性では 1 位「教員」（31.9%）、2 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（28.5%）、3 位「会社員」（20.1%）、4 位「保育士・幼稚園教諭」「看護師」（いずれも 18.8%）、女性では 1 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（36.5%）、2 位「会社員」（25.6%）、3 位「教員」（24.9%）、4 位「医師」（22.5%）、5 位「薬剤師」（16.0%）となりました。

過去の調査結果と比較すると、男性では「教員」が 2024 年調査（29.9%）、2025 年調査（28.4%）に引き続き 1 位となった一方、女性では「教員」は、2025 年調査（25.4%）から 2 年連続で 3 位となりました。

◆どのような職業の人と結婚したいと思うか（複数回答形式）

※2026年の結果は上位10位、2024年・2025年の結果は上位5位までを表示 対象：未婚者

2026年調査：男性【n=144】			2026年調査：女性【n=293】		
		%			%
1位	教員	31.9	1位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	36.5
2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	28.5	2位	会社員	25.6
3位	会社員	20.1	3位	教員	24.9
4位	保育士・幼稚園教諭	18.8	4位	医師	22.5
	看護師	18.8	5位	薬剤師	16.0
6位	医師	13.9	6位	大学教授・研究者	14.7
7位	料理人・パティシエ	11.8	7位	警察官・消防官・自衛官	12.3
8位	キャビンアテンダント	8.3	8位	弁護士	11.9
9位	薬剤師	7.6	9位	料理人・パティシエ	11.6
10位	大学教授・研究者	6.9	10位	パイロット	10.9
	弁護士	6.9			

2025年調査：男性【n=194】			2025年調査：女性【n=213】		
		%			%
1位	教員	28.4	1位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	32.4
2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	26.3	2位	会社員	26.3
3位	保育士・幼稚園教諭	21.6	3位	教員	25.4
4位	看護師	17.5	4位	医師	16.9
5位	医師	12.9	5位	料理人・パティシエ	12.2
				警察官・消防官・自衛官	12.2

2024年調査：男性【n=187】			2024年調査：女性【n=209】		
		%			%
1位	教員	29.9	1位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	39.7
2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	25.7	2位	教員	26.3
3位	保育士・幼稚園教諭	20.3	3位	会社員	24.9
4位	会社員	17.6	4位	警察官・消防官・自衛官	16.7
5位	看護師	17.1	5位	医師	15.3

◆教員・学校×有名人

・理想の校長先生のイメージに合うと思う有名人 男性回答 1 位「武田鉄矢さん」、女性回答 1 位「天海祐希さん」

最後に、全回答者（2,000 名）に、理想の校長先生のイメージに合うと思う有名人を聞いたところ、男性回答では「武田鉄矢さん」、女性回答では「天海祐希さん」が 1 位となりました。理由をみると、「武田鉄矢さん」では「子ども大人も指導してくれそう」や「職員も子ども大切にしてくれそうだから」、「鼻屑をしなさそう」、「天海祐希さん」では「生徒からも先生からも慕われる人格者のように思うから」や「バシッと意見などを言ってくれそうだし、凛としていてカッコいいから」、「何かあった時に助けてくれる。ちゃんと評価してくれる」といった回答が挙げられました。子どもと同様に教職員も大事にしてくれるような校長先生を理想としている人が多いようです。

以降、男性回答では 2 位「タモリさん」、3 位「明石家さんまさん」、4 位「所ジョージさん」、5 位「高市早苗さん」、女性回答では 2 位「武田鉄矢さん」、3 位「明石家さんまさん」、4 位「所ジョージさん」、5 位「タモリさん」となりました。理由についてみると、男性回答 2 位と女性回答 5 位の「タモリさん」では「知識が豊富でユーモアがあるから」や「慕われている感じがするから」、男性回答・女性回答ともに 3 位の「明石家さんまさん」では「常に明るくて、どんな子どもも受け入れてくれるイメージがあるから」や「誰のどんな発言も笑いに変えて、周りを明るくしてくれるから」といった回答が挙げられました。

◆理想の校長先生のイメージに合うと思う有名人（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	男性【n=1000】	名		女性【n=1000】	名
1位	武田鉄矢	38	1位	天海祐希	81
2位	タモリ	20	2位	武田鉄矢	28
3位	明石家さんま	19	3位	明石家さんま	27
4位	所ジョージ	18	4位	所ジョージ	25
5位	高市早苗	15	5位	タモリ	16
6位	栗山英樹	14	6位	大泉洋	14
7位	阿部寛	13	7位	鈴木亮平	11
8位	天海祐希	11	8位	大谷翔平	10
9位	ビートたけし	10		内村光良	10
10位	水谷豊	9	10位	ムロツヨシ	9
				櫻井翔	9

注：本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入の丸め計算を行っているため、内訳を合計しても100%とならない場合があります。

《調査概要》

- ◆調査タイトル : 教員の意識に関する調査 2026
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
20歳～69歳の教員（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）
- ◆調査期間 : 2026年5月13日～5月25日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 2,000名
(内訳)

男性	女性	計
1,000	1,000	2,000

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■ ■ 会社概要 ■ ■

- 会社名 : ジブラルタ生命保険株式会社 : The Gibraltar Life Insurance Co., Ltd.
- 本社所在地 : 〒100-8953 東京都千代田区永田町 2-13-10
- 代表者名 : 代表取締役社長 兼 CEO 蕪木 広義（かぶらぎ ひろよし）
- 営業開始 : 2001年4月3日
- 営業種目 : 個人保険、個人年金保険、団体保険、団体年金保険、再保険



**本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。**

■ 本リリースに関するお問い合わせ先 ■

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム【Tel】03-5501-6563